

REGZA

液晶テレビ

形名 24V34/32V34/40V34



★ インターネットへの接続をおすすめします

インターネットに接続すると、さまざまなサービスが利用できるクラウドサービスや、快適にご利用いただくための最新ソフトウェアへの更新など、より便利にそして快適に本機をご利用いただけます。



◆ お客様登録サイト<東芝 レグザ メンバース>に登録をお願いします◆

「東芝 レグザ メンバース」は、東芝映像商品のお客様登録サイトです。
ご登録いただくと、さまざまなサービスやサポートが受けられます。

※Web限定のサービスです。

<https://store.toshiba-visual.com/members/>



- ：：必ず最初に「安全上のご注意」 をご覧ください。
- ：：映像や音声が出なくなった、操作ができなくなったなどの場合は、
「困ったときには」 をご覧ください。

このたびは東芝テレビをお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。
お求めのテレビを安全に正しく使っていただくため、お使いになる前にこの取扱説明書をよくお読みください。
お読みになったあとは、いつも手元に置いてご使用ください。

はじめに

- 本書は本機の設置・接続と基本的な操作について説明しています。
- 本機の詳しい操作については、レグザ取扱説明書ダウンロードページ内の取扱説明書・機能操作編をご確認ください。

レグザ取扱説明書ダウンロードページ V34シリーズ 取扱説明書・機能操作編

- ・24V34: <https://cs.regza.com/mnul/rev2.php?no=100003&sid=1>
- ・32V34: <https://cs.regza.com/mnul/rev2.php?no=100002&sid=1>
- ・40V34: <https://cs.regza.com/mnul/rev2.php?no=100001&sid=1>

※上記のアドレスは予告なく変更される場合があります。

・24V34



・32V34



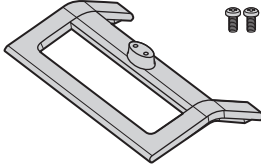
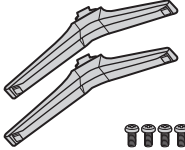
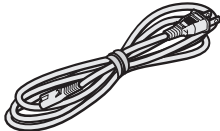
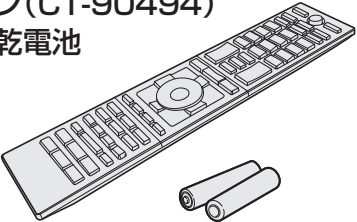
・40V34


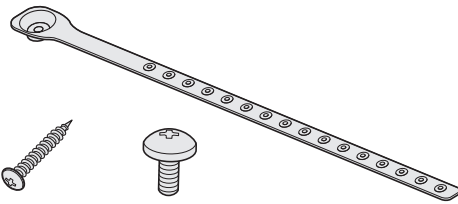


最初に確認してください

付属品を確認する

- 本機には以下の付属品があります。お確かめください。
- アンテナや外部機器などに接続するためのケーブルやコード、器具・機器などは付属されておりません。機器の配置や端子の形状、使用環境などに合わせて適切な市販品を別途お買い求めください。

付属品/名称	付属数
スタンド(24V34) ● 本体に取り付けます。 	スタンド 1個 ネジ 2本
スタンド(32/40V34) ● 本体に取り付けます。 	スタンド 2個 ネジ 4本
電源コード  * 電源コードは24V34にのみ付属しています。	1本
リモコン(CT-90494) 単四形乾電池 	リモコン 1個 乾電池 2本

付属品/名称	付属数
変換ケーブル (24V34) ● ビデオ入力端子に機器を接続する場合に使います。 	1本
ネジ (長)、ネジ (短)、転倒防止バンド ● テレビの転倒・落下防止に使います。 	ネジ (長) 1本 ネジ (短) 1本 転倒防止用 バンド 1本
miniB-CASカード ● miniB-CASカードは付属品袋の中に収納されています。 本機の側面に挿入します。	1枚
取扱説明書(本書) 「東芝レグザメンバーズ」の登録チラシ	各1部

※ 付属品紛失の際は弊社部品をお求めください。

もくじ

安全上のご注意	4
---------	---

準備・接続をする

各部のなまえ	8	リモコンの準備をする	21
スタンドを取り付ける	10	各ボタンの機能	21
テレビを設置する	12	乾電池を入れる	21
正しい置きかた	12	リモコンコードについて	21
転倒・落下防止のしかた	12	リモコンの使用範囲について	22
miniB-CAS (ミニビーカス)カードを挿入する	13	電源を入れる	22
デジタル放送の種類と特徴	14	電源を入れる	22
アンテナを接続する	14	電源を「待機」にする	22
お願いとご注意	14	お願い…電源プラグの取り扱いについて	22
地上放送と衛星放送が個別のアンテナの場合	15	「はじめての設定」をする	23
地上放送と衛星放送が混合のアンテナの場合 (マンションの共聴アンテナなど)	15	「はじめての設定」について	23
録画機器を経由する場合	15	はじめての設定	23
外部機器を接続する	16	「はじめての設定」をやり直すとき	26
外部機器接続例	16	録画機器を接続する	27
アナログ音声入力端子付のオーディオ機器で聴くとき	17	録画できる機器と番組	27
デジタル音声(光)端子付のオーディオ機器で聴くとき	18	USBハードディスクの接続をする	27
レグザリンク対応のオーディオ機器で聴くとき	18	USBハードディスクを本機に登録する	28
USB機器を接続する	19	ホームネットワークについて	29
機器の接続時に操作メニューが表示されるようにする	19	機器を接続する	29
インターネットを利用するための接続をする	20	ホームネットワークの設定をする	30
本機をインターネットに接続したときにできること	20	レグザリンクについて	32
接続のしかた(有線LANの場合)	20	タイムシフトリンク機能の接続・設定をする	34







テレビを使う

お知らせを見る	35	電源プラグをコンセントから抜く際のご注意	38
B-CASカード情報を確認する	35	遠隔操作について	38
ソフトウェアを更新する	36	録画・録音について	38
ソフトウェアの更新機能について	36	本機の無線LANを使う際のお願い	38
ソフトウェアの自動ダウンロードについて	36	無線LAN製品ご使用における セキュリティに関するご注意	39
サーバーから手でダウンロードする	36	本機を廃棄、または他の人に譲渡するとき	39
ソフトウェアのバージョンを確認するには	36	免責事項について	39
文字を入力する	37	お手入れについて	40
使用上のごお願いとご注意	38	お手入れの際のご注意	40
取り扱いについて	38	キャビネットと画面のお手入れ	40

困ったときには

こんな場合は故障ではありません	41	保証とアフターサービス	48
症状に合わせて解決法を調べる	41		
Basic Operations	42		
本製品のご利用に関する重要なお知らせ	43		
ライセンスおよび商標などについて	43		
仕様	44		

この取扱説明書内のマークの見かた

 機能などの補足説明、参考にしていただきたいこと、制限事項などを記載しています。	 取扱上のご注意を記載しています。
 用語の説明をしています(分野によっては、同じ用語を別の意味で使用していることがあります)。	 取扱上のご注意を記載しています。
 関連する内容が記載されているページの番号を示しています。	 レグザ取扱説明書ダウンロードページ掲載の「機能操作編」取扱説明書の記載ページを示しています。



- この取扱説明書は、24V34 / 32V34 / 40V34で共用です。記載しているイラストは32V34のもので、本書のイラストや画面表示はイメージであり、実際とは異なる場合があります。
- ソフトウェアのバージョンアップなどにより、実際の表示画面は変更される可能性があります。
- 「機能操作編」取扱説明書の記載ページは、変更される可能性があります。
- 当社サポートサイト(<https://www.regza.com/regza/support/>)の「取扱説明書(マニュアル)ダウンロード」には最新の取扱説明書を掲載しており、製品発売後に追加公開された説明資料が掲載される場合もありますので、本書でお探しの情報が見つからないときは、合わせてご確認ください。

安全上のご注意

商品および取扱説明書には、お使いになるかたや他の人への危害と財産の損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくために、重要な内容を記載しています。

次の内容（表示・図記号）をよく理解してから本文をお読みになり、記載事項をお守りください。

【表示の説明】







表示	表示の意味
 警告	“取り扱いを誤った場合、人が死亡、または重傷を負うことが想定されること”を示します。 ^{*1}
 注意	“取り扱いを誤った場合、人が軽傷を負うことが想定されるか、または物的損害の発生が想定されること”を示します。 ^{*2} ^{*3}

*1： 重傷とは、失明やけが、やけど（高温・低温・化学）、感電、骨折、中毒などで、後遺症があるもの、および治療に入院や長期の通院を要するものをさします。

*2： 軽傷とは、治療に入院や長期の通院を要さない、けが、やけど、感電などをさします。

*3： 物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペットなどにかかわる拡大損害をさします

【図記号の例】

図記号	図記号の意味
 禁止	“  ”は、禁止（してはいけないこと）を示します。 具体的な禁止内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。
 指示	“  ”は、指示する行為の強制（必ずすること）を示します。 具体的な指示内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。
 注意	“  ”は、注意を示します。 具体的な注意内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。

警告

異常や故障のとき

- 煙が出ている、変なおいがするときは、すぐに電源プラグをコンセントから抜く



そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。

煙が出なくなるのを確認し、お買い上げの販売店にご連絡ください。

- 画面が映らない、音が出ないときは、すぐに電源プラグをコンセントから抜く



そのまま使用すると、火災の原因となります。

お買い上げの販売店に、点検プラグを抜くをご依頼ください。

- 内部に水や異物がいいたら、すぐに電源プラグをコンセントから抜く



そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。

お買い上げの販売店に、点検プラグを抜くをご依頼ください。

- 落したり、キャビネットを破損したりしたときは、すぐに電源プラグをコンセントから抜く



そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。

キャビネットが破損したまま取り扱おうと、けがのおそれがあります。

お買い上げの販売店に、点検・修理をご依頼ください。

- 電源コードや電源プラグが傷んだり、発熱したりしたときは、本体底面にある本体の電源ボタンを押して電源を切り、電源プラグが冷えたことを確認し、コンセントから抜く



そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。

コードが傷んだら、お買い上げの販売店に交換をご依頼ください。

設置するとき

- 本機はコンセントから電源プラグが抜きやすいように設置する



指示

万一の異常や故障のとき、または長期間使用しないときなどに役立ちます。

- 屋外や浴室など、水のかかるおそれのある場所には置かない



火災・感電の原因となります。

風呂、シャワー室での使用禁止

安全上のご注意 つづき

警告

■ ぐらつく台の上や傾いたところなど、不安定な場所に置かない



テレビが落下すると、重大なけがや死亡の原因となります。多くのけが、特にお子様のけがは以下のような簡単な予防措置を取ることで回避できます。

- ・ スタンドは本機に付属のスタンドを付属のネジで本機の本体に固定して使用する。
- ・ 本機を安全に保持できるテレビ台などの専用の家具を使用する。
- ・ 本機は設置するテレビ台などの家具の端からはみ出さないように設置する。
- ・ 背の高い家具(食器棚や本棚など)の上には本機と家具の両方を頑丈な柱や壁などに確実に固定した場合以外は設置しない。
- ・ 本機と本機を設置するテレビ台などの家具の間には、布など何も敷かない。
- ・ お子様には、本機やリモコンを操作するために本機を設置したテレビ台などの家具によじ登ると危険であることをよく説明して教え、お子様がテレビを設置した家具によじ登らないように注意する。

これまで使用していたテレビを使い続ける場合や別の場所に移動する場合にも上記と同様な対応が必要です。

テレビ台を使用するときは、その取扱説明書もよくお読みください。

■ 振動のある場所に置かない



振動でテレビが移動・転倒し、けがの原因となります。

振動禁止

■ 電源プラグは交流100Vコンセントに根元まで確実に差し込む



交流100V以外を使用すると、火災・感電の原因となります。差し込みかたが悪いと、発熱によって火災の原因となります。

傷んだ電源プラグ、ゆるんだコンセントは使わないでください。

■ 電源コードのコネクターは、本機のAC IN端子に確実に差し込む(24V34)



差し込みかたが悪いと、発熱によって火災の原因となります。本機を移動したりしたときは、差込部分のゆるみがないかご確認ください。

指示

■ 上にものを置いたり、ペットをのせたりしない



金属類や、花びん・コップ・化粧品などの液体、ペットの尿・体毛などが内部にはいった場合、火災・感電の原因となります。

上載せ禁止

重いものなどが置かれて落下した場合、けがの原因となります。

■ miniB-CASカードを乳幼児の手の届く所に置かない



誤って飲み込むと窒息またはけがのおそれがあります。万一、飲み込んだと思われる場合は、すぐに医師にご相談ください。

放置禁止

miniB-CASカードは、台紙(説明書)から取り出し、速やかに本機のminiB-CASカード挿入口に挿入してください。

■ 壁に取り付けて使用する場合、壁掛工事は、お買い上げの販売店に依頼する



工事が不完全だと、けがの原因となります。

指示

■ 転倒・落下防止の処置をする



転倒・落下防止の処置をしないと、テレビの転倒・落下によってけがなどの危害が大きくなります。

指示

転倒防止のしかたは「12」をご覧ください。

使用するとき

■ 修理・改造・分解はしない



内部には電圧の高い部分があり、感電・火災の原因となります。内部の点検・調整および修理は、お買い上げの販売店にご依頼ください。

分解禁止

■ 電源コード・電源プラグは、



● 傷つけたり、延長するなど加工したり、加熱したり(熱器具に近付けるなど)しない

禁止

- 引っ張ったり、重いものを載せたり、はさんだりしない
- 無理に曲げたり、ねじったり、束ねたりしない

火災・感電の原因となります。

■ 異物を入れない



通風孔などから金属類や紙などの燃えやすいものが内部にはいった場合、火災・感電の原因となります。

異物侵入禁止

特にお子様にはご注意ください。

■ 雷が鳴りだしたら、テレビ・電源コード・アンテナ線および本機に接続した機器やケーブル・コードに触れない



感電の原因となります。

禁止

■ 包装に使用しているビニール袋でお子様が進んだりしないように注意する



かぶったり、飲み込んだりすると、窒息のおそれがあります。万一、飲み込んだ場合は、直ちに医師に相談してください。

指示

■ 電源コードは、本機の付属品を使用する(24V34)



付属品以外の電源コードを使用すると、火災・感電の原因となることがあります。

指示

■ 本機に付属されている電源コードを他の機器に使用しない(24V34)



他の機器に使用すると、火災・感電の原因となることがあります。

禁止

お手入れについて

■ とくとき電源プラグを抜いて点検し、刃や刃の取り付け面にゴミやホコリが付着している場合は、きれいに掃除する



電源プラグの絶縁低下によって、火災の原因となります。

指示

注意

設置するとき

■ 温度の高い場所に置かない



直射日光の当たる場所やストーブのそばなど、温度の高い場所に置くと火災の原因となることがあります。

禁止

また、キャビネットの変形や破損などによって、感電の原因となることがあります。

■ 通風孔をふさがない



通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。

禁止

壁に押しつけないでください(10cm以上の間隔をあける)。押し入れや本箱など風通しの悪いところに押し込まないでください。テーブルクロス・カーテンなどを掛けたりしないでください。じゅうたんや布団の上に置かないでください。あお向け・横倒し・逆さまにしないでください。

■ 湿気・油煙・ホコリの多い場所に置かない



加湿器・調理台のそばや、ホコリの多い場所などに置くと、火災・感電の原因となることがあります。

禁止

■ 移動したり持ち運んだりする場合は、



● 包装箱から出すとき、持ち運ぶときは、二人以上で取り扱う

指示

一人で取り扱うと、身体を痛めたり、テレビを落としたりしてけがをしたりする原因となることがあります。

● 離れた場所に移動するときは、電源プラグ・アンテナ線・機器との接続線および転倒防止をはずす

はずさないまま移動すると、電源コードが傷つき火災・感電の原因となったり、テレビが転倒してけがの原因となったりすることがあります。

● 車(キャスター)付きのテレビ台に設置している場合、移動させるときは、キャスターの固定を解除し、テレビを支えながら、テレビ台を押すテレビを押したり、テレビを支えていなかったりすると、テレビが落下してけがの原因となることがあります。

● 衝撃を与えないように、ていねいに取り扱う

テレビが破損してけがの原因となることがあります。

■ 車(キャスター)付きのテレビ台に設置する場合は、キャスターが動かないように固定する



固定しないとテレビ台が動き、けがの原因となることがあります。

指示

畳やじゅうたんなど柔らかいものの上に置くときは、キャスターをはずしてください。キャスターをはずさないで、揺れたり、傾いたりして倒れることがあります。

使用するとき

■ テレビ台を使用するときは、



- 不安定な台を使わない
- 片寄った載せかたをしない
- テレビ台の扉を開けたままにしない

禁止

- 耐荷重が本機の質量より軽いテレビ台を使わない
- テレビ台の端からはみ出さない
- 本機とテレビ台の間には布なども敷かない

倒れたり、破損したり、指をはさんだり、引っ掛けたりして、けがの原因となることがあります。特にお子様にはご注意ください。

■ コンセントや配線器具の定格を超える使いかたはしない



タコ足配線をしないでください。火災・感電の原因となることがあります。

禁止

■ 電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張って抜かない



電源コードを引っ張って抜くと、電源コードや電源プラグが傷つき火災・感電の原因となることがあります。

引っ張り禁止

電源プラグを持って抜いてください。

■ ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない



感電の原因となることがあります。

ぬれ手禁止

■ テレビやテレビ台にぶら下がったり、上に乗ったりしない



落ちたり、倒れたり、壊れたりしてけがの原因となることがあります。

禁止

特にお子様にはご注意ください。

■ 旅行などで長期間使用しないときは、安全のため電源プラグをコンセントから抜く



万一故障したとき、火災の原因となることがあります。

プラグを抜け

本体底面にある本体ボタンの中央部やリモコンの電源ボタンを押して画面を消した場合は、本機への通電は完全には切れていません。本機への通電を完全に切るには、電源プラグをコンセントから抜いてください。

■ ヘッドホンやイヤホンを使用するときは、音量を上げすぎない



耳を刺激するような大きな音量で聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。

禁止

■ リモコンに使用している乾電池は、



- 指定以外の乾電池は使用しない
- 極性表示⊕と⊖を間違えて挿入しない

禁止

- 充電・加熱・分解したり、ショートさせたりしない
- 火や直射日光などの過激な熱にさらさない
- 表示されている「使用推奨期限」の過ぎた乾電池や、使い切った乾電池はリモコンに入れておかない
- 長期間使用しないときは、乾電池をリモコンに入れておかない
- 種類の違う乾電池、新しい乾電池と使用した乾電池を混ぜて使用しない

これらを守らないと、液もれ・発熱・発火・破裂などによって、やけど・けがの原因となることがあります。

もれた液が目にはいたり、皮膚についたりすると、目や皮膚に障害を与えるおそれがあります。目や口にはいたり、皮膚についたりしたときは、きれいな水でよく洗い流し、直ちに医師に相談してください。

衣服についたときは、すぐにきれいな水で洗い流してください。

器具についたときは、液に直接触れないでふき取ってください。

安全上のご注意 つづき



注意

■ 液晶テレビの画面をたたいたり、衝撃を加えたりしない



禁止

ガラスが割れて、けがの原因となることがあります。もしも、ガラスが割れて液晶(液体)がもれたときは、液晶に触れないでください。

もれた液が目にはいたり、皮膚についたりすると、目や皮膚に障害を与えるおそれがあります。目や口にはいたり、皮膚についたりしたときは、きれいな水でよく洗い流し、直ちに医師に相談してください。衣服などについたときは、すぐにきれいな水で洗い流してください。床や周囲の家具、機器などについたときは、液に直接触れないでふき取ってください。

■ テレビの周囲に薬品、芳香剤、消臭剤、化粧品、洗剤などを置かない



禁止

薬品・芳香剤・消臭剤・化粧品・洗剤などの中には、プラスチックに付着すると劣化やひび割れを生じさせるものがあります(詳しくは、下の「お知らせ」をご覧ください)。

テレビのキャビネットやスタンド部分が破損すると、感電の原因となったり、テレビが転倒してけがの原因となったりすることがあります。

薬品・芳香剤・消臭剤・化粧品・洗剤などがテレビに付着したときは、すぐにきれいにふき取ってください。

テレビのキャビネットやスタンド部分などにひび割れなどの破損が生じたときは、すぐにお買い上げの販売店に修理をご依頼ください。

お知らせ

- 本機のキャビネット、スタンドなどにはプラスチックが多く使われています。薬品・芳香剤・消臭剤・化粧品・洗剤などの中にはプラスチックに付着したままにしておくと、プラスチックの劣化・ひび割れ(ケミカルストレスクラック)の原因となるものがあります。

「ケミカルストレスクラック」とは、製品荷重などの応力が加わっているプラスチック部分に、薬品・芳香剤・消臭剤・化粧品・洗剤などが付着すると、付着物がプラスチック内部に浸透して応力との相互作用でひび割れや破損が発生する現象です。こぼれたこれらの液体などが、製品底面のプラスチック部分と設置台のすき間に浸み込んだ場合でも、放置すると発生することがあります。

お手入れについて

■ お手入れのときは、電源プラグをコンセントから抜く



プラグを抜く

感電の原因となることがあります。お手入れのしかたは **40** をご覧ください。

(電源プラグを抜く前に、「電源プラグをコンセントから抜く際のご注意」**38**をお読みください)

■ 1年に一度は内部の清掃を、お買い上げの販売店にご相談ください



指示

本体の内部にホコリがたまったまま使用すると、火災や故障の原因となることがあります。特に湿気の多くなる梅雨期の前に行うと効果的です。内部

清掃費用については、お買い上げの販売店にご相談ください。

■ お手入れや、画面の向きを変える際に、




禁止

- 画面とキャビネットの隙間に液体や異物を入れない

- 画面のみを押ししたり、引っ張ったりしない

画面の内面はガラスでできています。無理に曲げたり、傷つけたりした場合、画面が割れて、けがの原因となることがあります。お手入れのしかたは **40** をご覧ください。

各部のなまえ

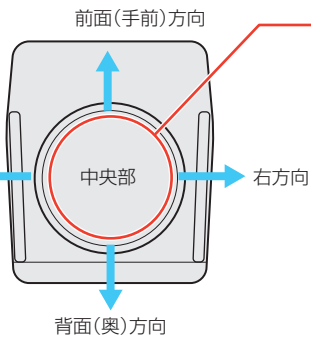
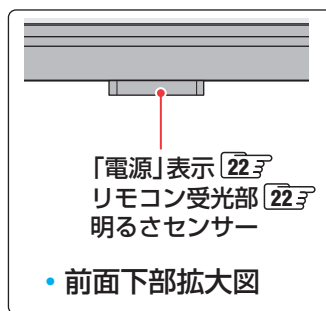
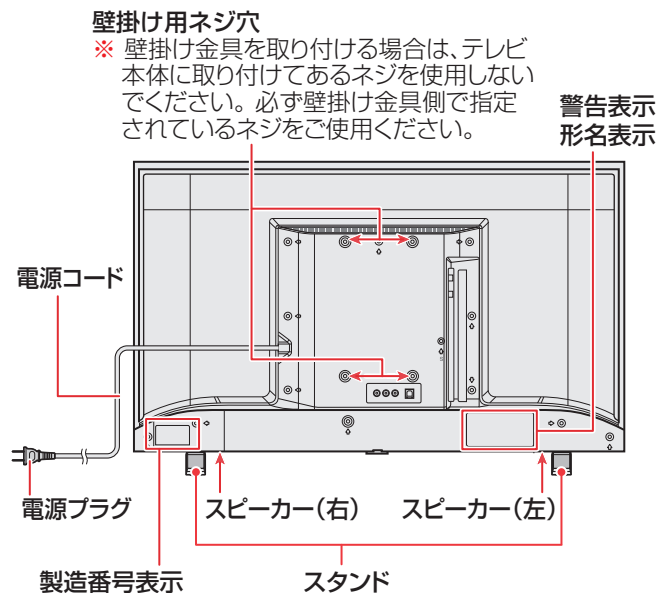
- 製品イラストは32V34です。他の機種はイメージが多少異なります。
- 詳しくは  内のページをご覧ください(代表的なページを示しています)。

前面/背面と本体ボタン

・前面





・背面





前面(手前)方向
左方向
中央部
右方向
背面(奥)方向

・底面から見た図

本体ボタン
電源 
● 中央部を押すと電源を待機/入します。

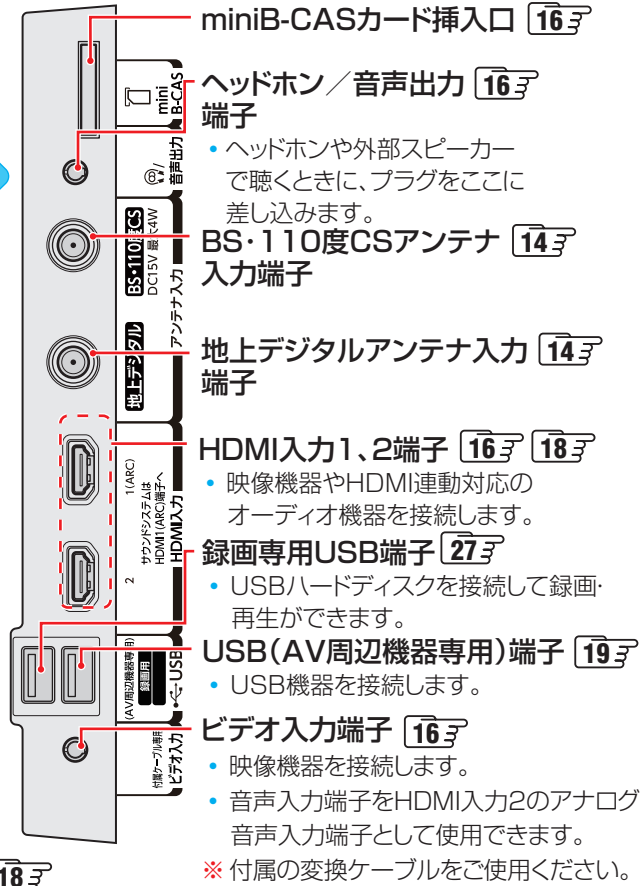
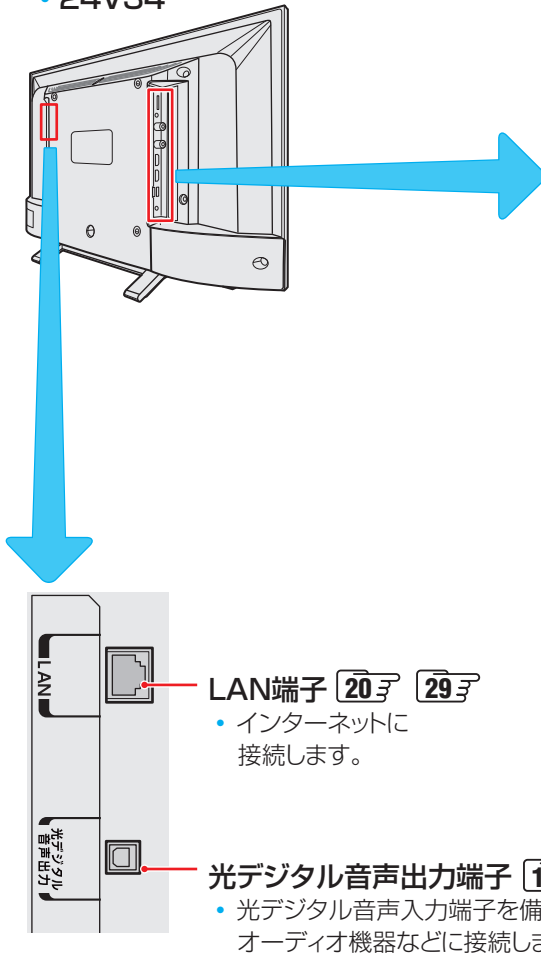
機能切換 機能操作編 **18**
● 手前に動かすたびに、本体ボタンを左右に動かしたときの機能が切り換わります。

音量 機能操作編 **18**
● 通常は、左右に動かすと音量の調節をします。
● 本体ボタンを手前に動かすたびに、機能が切り換わります。

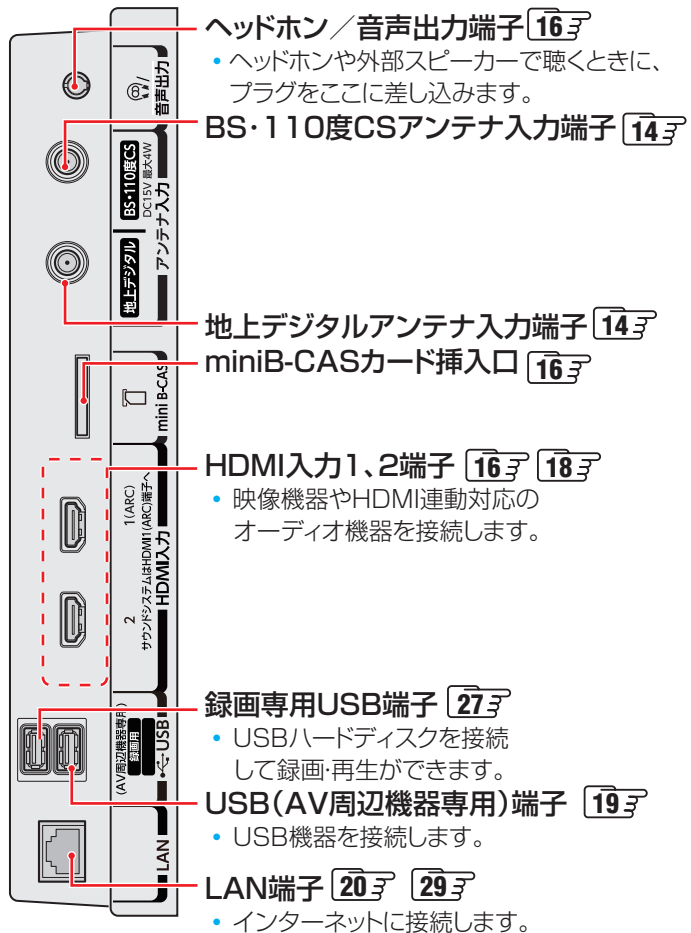
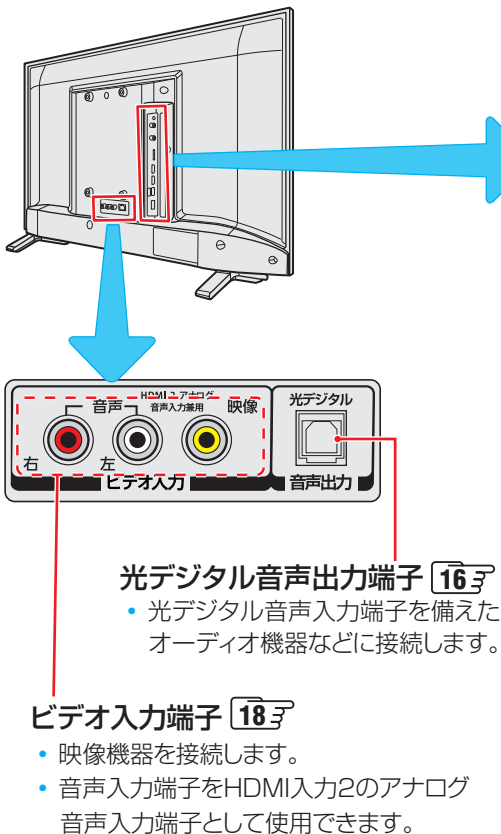
消音 機能操作編 **18**
● 奥に動かすと、音を一時的に消します。
● もう一度奥に動かすと音が出ます。

入出力端子

• 24V34



• 32/40V34



スタンドを取り付ける

注意

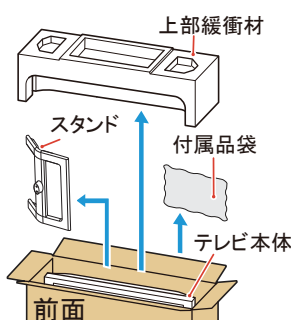
- 二人以上で作業をする
一人で作業をすると、身体を痛めたり、けがをしったりする原因になります。
- 画面を強く握らない
画面を強く握ると、割れるおそれがあります。
- 本機は本体を横に寝かせてスタンドを取り付けます。
- その際に包装材を簡易テーブルとして使用します。

お願い

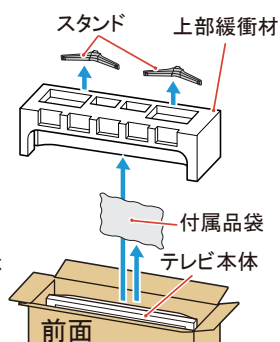
- プラスドライバー（JIS 2番、直径6mm）をご用意ください。
- ※製品についている保護フィルムは、設置作業が終わってから取りはずすようにしてください。（図では省略しています）

- スタンド本体は包装箱の下図の場所に、スタンド固定用ネジは付属品袋の中に収納されています。

■ 24V34



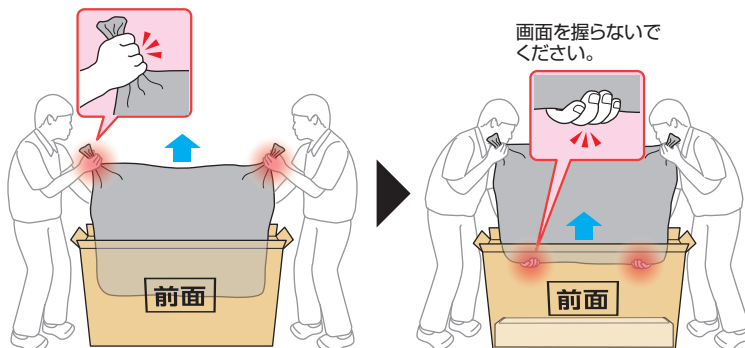
■ 32/40V34



2 本体を包装箱から取り出す

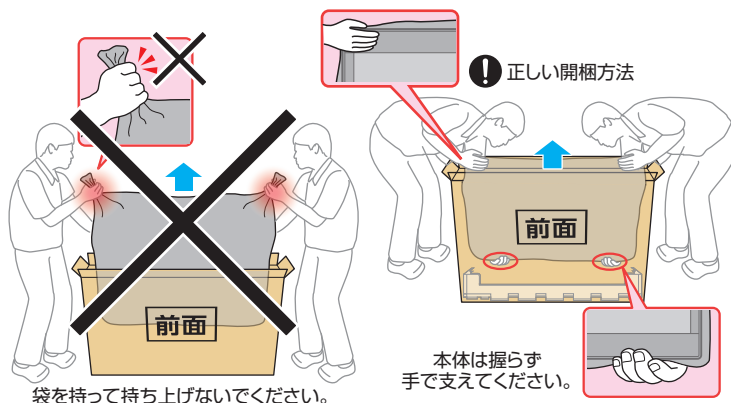
■ 24/32V34

- 袋を持ってテレビ本体を包装箱から取り出してください。
- テレビ本体の背面側をもう片方の手で支えてください。
- 画面を強く握らないでください。



■ 40V34

- 本体の下側を手で支えて取り出してください。
- 画面を強く握らないでください。

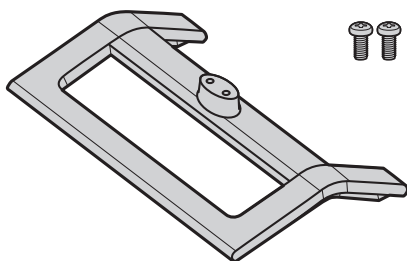


1 スタンド組立用部品を確認する

- 以下の部品がそろっているか、ご確認ください。

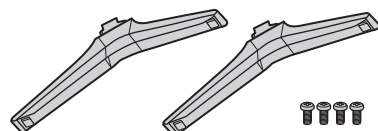
■ 24V34

- ・ネジ 2本
- ・スタンド本体 1個



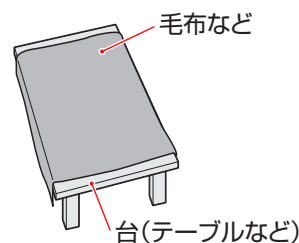
■ 32/40V34

- ・ネジ 4本
- ・スタンド本体 2個



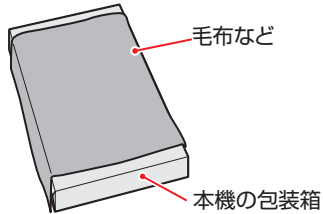
3 作業用の台を用意する

- 本体よりも大きなテーブルを用意し、上に毛布などの柔らかい布を敷きます。
- テーブルがない場合は、本機の包装箱で代用することができます。



本機の包装箱で代用する場合

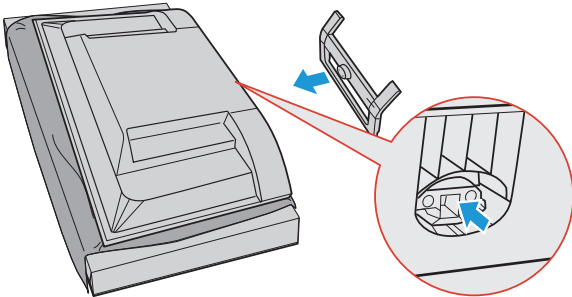
- 包装箱の中から製品(テレビ本体および付属品)を取り出します。
- 補強のため、緩衝材は入れておきます。
- テレビ本体は別に用意した毛布などの上に仮置きしておきます。



4 本体にスタンドを取り付ける

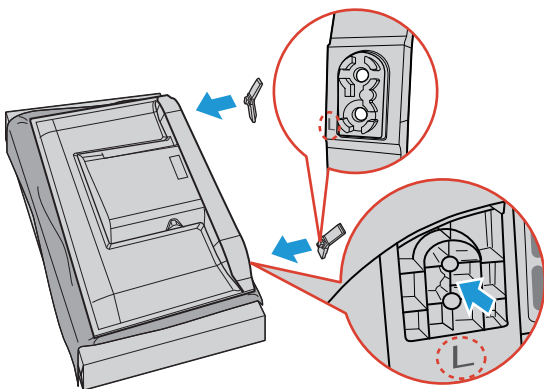
- 本体の画面側を下にして作業用の台からはみださないうように置きます。
- 本体下部の溝に支柱が差し込まれるようにして取り付けます。

■ 24V34



■ 32/40V34

- スタンドには左右があります。本体とスタンドにあるR/Lの刻印を確認し、正しく取り付けてください。

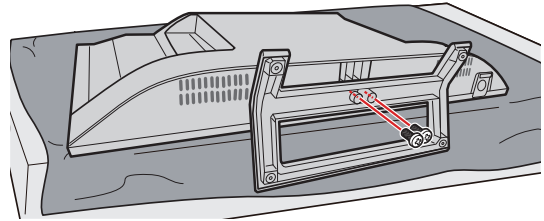


5 本体とスタンドをネジで固定する

- ネジはしっかりと締めてください。

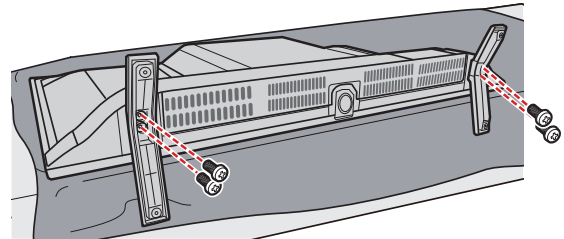
■ 24V34

ネジ2本



■ 32/40V34

ネジ4本



- スタンドの突起が本体の穴に確実に入っていることを確認してください。(正しく入っていない状態でネジを締めると本機が傾きます。)



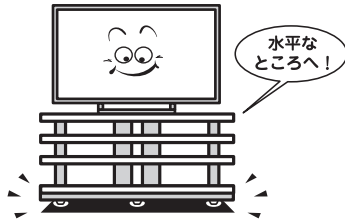
- 電動ドライバーをご使用の場合、トルクはおよそ1.0N・m (10kgf・cm)に設定してください。

テレビを設置する

- 設置の前に「安全上のご注意」**4**～**7**を必ずお読みください。

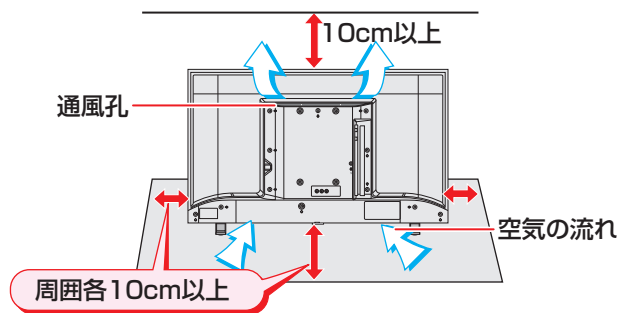
正しい置きかた

- 丈夫で水平な安定した所に設置してください



- 周囲から離して置いてください

- 通風孔をふさがないように本機の上および周囲に10cm以上の空間を設けてください。



- テレビ台を使用する場合

- テレビ台の取扱説明書をご覧ください。

転倒・落下防止のしかた

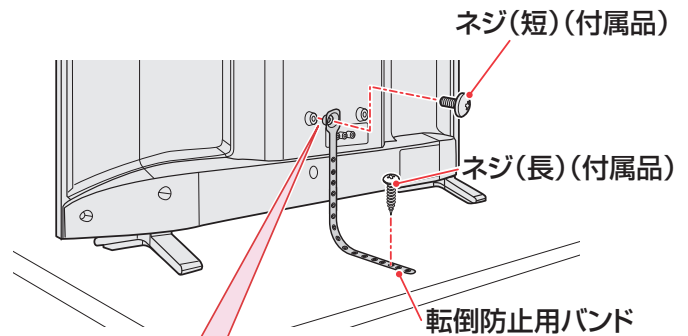
- 転倒・落下防止器具を取り付ける台や壁の強度によっては、転倒・落下防止効果が大幅に減少します。その場合は、適当な補強を施してください。以下に記載した転倒・落下防止のしかたは、けがなどの危害の軽減を意図したものです。すべての地震に対してその効果を保証するものではありません。

- ※ 固定後は、本機を押したり、持ち上げたりしないでください。破損の原因になります。

転倒防止用バンドを使用して固定するとき

- 付属の転倒防止バンド1本を、本体背面の図の位置に付属のネジ(短)でしっかりと取り付け、設置する台の確実に支持できる天面に付属のネジ(長)で固定します。

- ※ バンドはへこんだ側が表になるように取り付けてください。反対向きに取り付けるとバンドが破損することがあります。



- ※ イラストは32V34です。

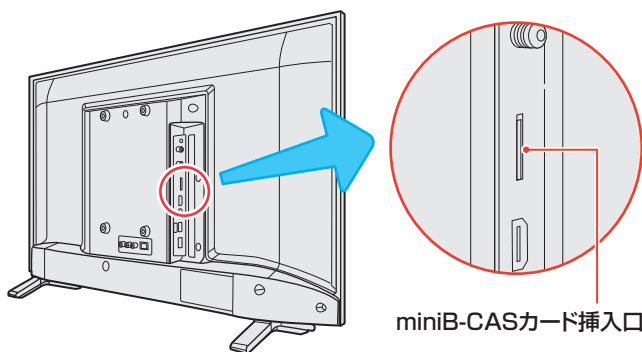
- ※ 後方には倒れることがあります。固定後は台を壁などに近付けて設置し、お子様がいれないようにしてください。



- 他のデジタル機器や電子レンジなどから出る電磁波によって、本機の映像が乱れたり、雑音が出たりすることがあります。相互に影響しない位置に設置してください。

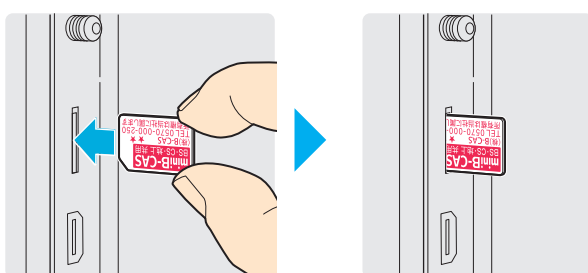
miniB-CAS (ミニビーキャス) カードを挿入する

- miniB-CASカードは付属品袋の中に収納されています。
- miniB-CASカードは、デジタル放送や「放送局からのお知らせ」の受信などに必要です。常に本機に挿入しておいてください。
- 説明書(台紙)は裏面もよく読みの上、大切に保管してください。

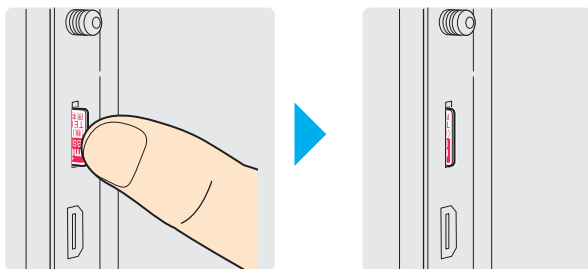


挿入のしかた

- 1 miniB-CAS口ゴ印刷面を本体の背面側に向け、角が欠けたほうから差し込む

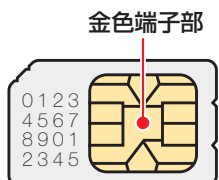


- 2 指先でカチッと音がするところまで押す



注意

- miniB-CASカードの取り扱いについて
 - miniB-CASカードを抜き差しするときは、本機の電源を切って、電源プラグをコンセントから抜いてください。
 - 金色端子部が汚れるとデジタル放送を受信できなくなることがあります。金色端子部に触れないようご注意ください。



- 乾いたきれいな手で取り扱ってください。
- 金色端子部が指紋がつくなど、汚れてしまった場合は、乾いたきれいな柔らかい布でふき取ってください。

取り出しがた

- 1 指先でカチッと音が鳴るまで押す
 - ロックが解除され、miniB-CASカードが少し出てきます。
- 2 指先でカードを滑らせて取り出す
 - 金色端子部に触れないように注意しながら取り出します。

miniB-CASカードID番号記入欄

- 下欄にminiB-CASカードのID番号をご記入ください。お問い合わせの際に役立ちます。
- miniB-CASカードのID番号は設定メニューで確認できます。 **35**

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

デジタル放送の種類と特徴

● 本機は以下の4種類のデジタル放送を受信することができます。

地上デジタル放送

地上波のUHF帯を使用したデジタル放送です。

- UHF帯の電波を使って行う放送で、高品質の映像と音声、さらにデータ放送が特徴です
- 本機は「CATVパススルー対応」です
ケーブルテレビ局が再送信する地上デジタル放送を受信することができます。

BSデジタル放送/110度CSデジタル放送

- 受信にはBS・110度CS共用アンテナを使用します。
- BSデジタル放送
デジタル方式の放送衛星(Broadcasting Satellite: 通称BS)を使用したデジタル衛星放送です。
 - 日本全国どこでも同じ放送を楽しむことができ、一部に視聴契約が必要な有料チャンネルがあります
 - 2種類のデータ放送(連動データ放送、独立データ放送)や双方向サービスがあります
- 110度CSデジタル放送(CS)
BSデジタル放送の衛星と同じ東経110度に打ち上げられている通信衛星(Communication Satellite: 通称CS)を利用して、スカパーJSAT(株)が運用しているデジタル衛星放送です。
 - さまざまなテレビ番組や専門チャンネル、データ放送などの多彩な放送があります
 - 多くのチャンネルで有料の視聴契約が必要です

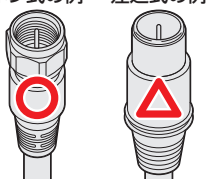
アンテナを接続する

お願いとご注意

※ アンテナ工事には技術と経験が必要です。アンテナの設置・調整については、お買い上げの販売店にご相談ください。

- アンテナや接続に必要なアンテナ線(同軸ケーブル)、混合器、分波器、分配器などは付属されていません。
機器の配置や端子の形状、受信する放送の種類(電波の種類)などに合わせて適切な市販品を別途お買い求めください。

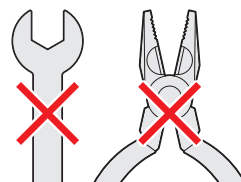
- F型コネクタがネジ式のアンテナ線をおすすめします。
差込式のものを使用する場合は、本機のアンテナ端子のネジ部分と確実に接触するものをご使用ください。接触が悪いと、受信できなかったり、時々映らなくなったりすることがあります。



- F型コネクタのピンが曲がっていないか確認してください。
曲がったままで接続すると、折れたり、ショートしたりすることがあります。

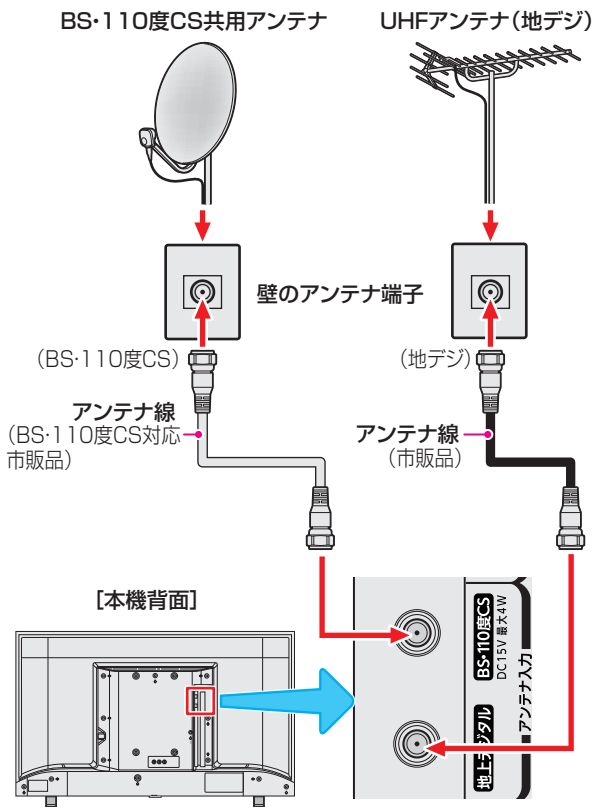


- アンテナ線のF型コネクタは、ゆるまない程度に手で締めつけてください。
工具などで締めつけすぎると、壁のアンテナ端子や本機のアンテナ入力端子、背面パネルが破損するおそれがあります。



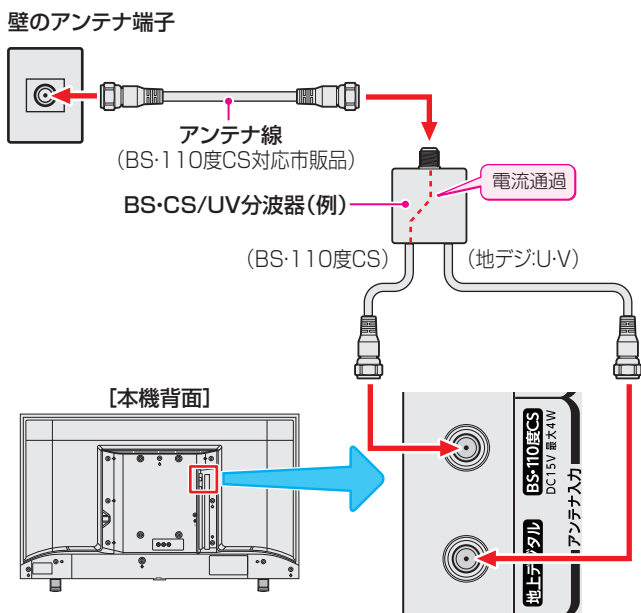
- アンテナを接続するときは必ず本機の電源を待機にし、電源プラグをコンセントから抜いてください。

地上放送と衛星放送が個別のアンテナの場合



地上放送と衛星放送が混合のアンテナの場合 (マンションの共聴アンテナなど)

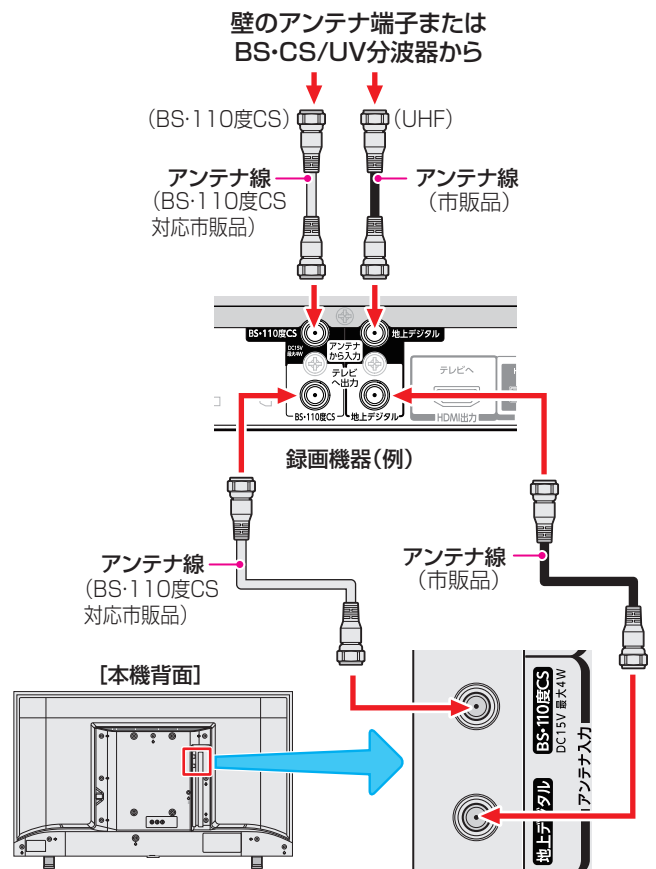
- 地上放送と衛星放送の電波が混合されて壁のアンテナ端子に届いている場合は、以下のように接続します。
- マンションなどでの共聴システムの場合は、視聴できる放送の種類についてマンションなどの管理会社にご確認ください。



- BS・110度CS共用アンテナは電源を必要とします。BS・CS/U・V混合器や分波器は、本機のBS・110度CSアンテナ入力端子からアンテナ電源が供給できるように、電流通過型のものがようになります。
- ※ マンションなどでの共聴システムの場合は、本機からBS・110度CS共用アンテナ用の電源を供給する必要はありません(「はじめての設定」[23](#)のあとで「衛星アンテナ電源供給」を「しない」に設定してください。詳しくは「BS・110度CS用アンテナの電源供給の設定を変更する」(機能操作編 [270](#))をご覧ください)。

録画機器を経由する場合

- 録画機器のBS・110度CSアンテナ電源が供給される設定になっていることを確認してください。詳しくは、録画機器の取扱説明書をご覧ください。



テレビが映らないとき

- 「はじめての設定」[23](#)をしてもテレビが映らない、または映りが悪いような場合は、録画機器を経由しないで本機に直接接続してみてください。改善される場合、本機の問題ではありません。
 - 録画機器の電源プラグが抜けていると、アンテナ出力端子に電波が出力されない場合があります。
- 症状が改善されない場合は、「アンテナを調整する」(機能操作編 [267](#))をご覧ください。

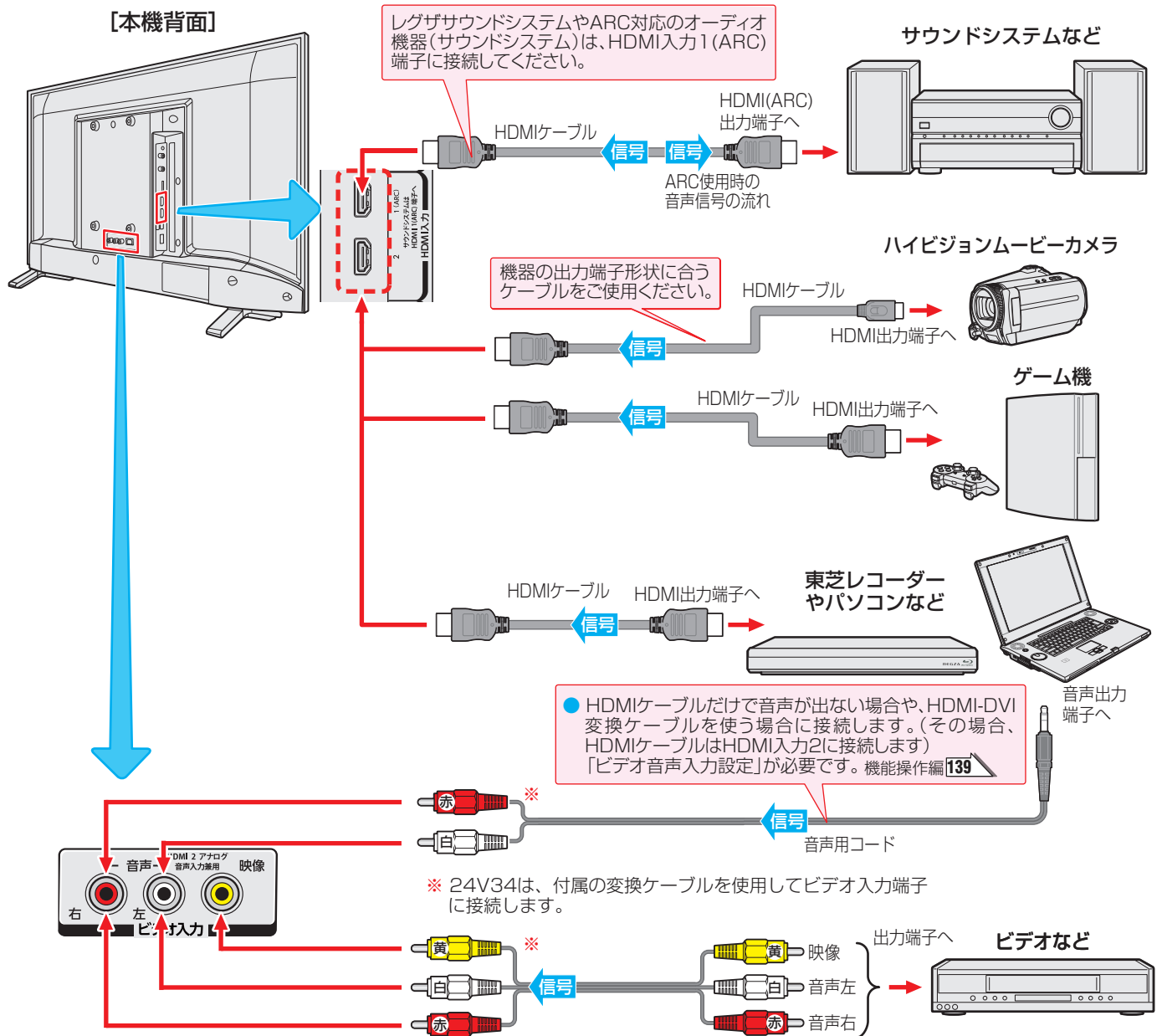


- 録画機器で受信した番組や録画した番組を見るための接続については、「外部機器を接続する」[16](#)をご覧ください。

外部機器を接続する

外部機器接続例


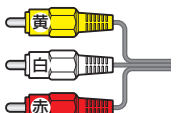
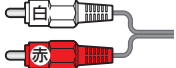


- レコーダーなどの録画機器の場合、アンテナの接続については、**15**をご覧ください。
- 接続が終わったら、「外部入力の機能を設定する」(機能操作編**136**)を参照して必要な設定をしてください。
- HDMI連動機器(レグザリンク対応機器)では、本機との連動機能によって、ワンタッチプレイやシステムスタンバイの機能を使ったり、本機のリモコンで機器の基本操作をしたりすることができます。詳しくは、「レグザリンクについて」**32**をご覧ください。必要に応じて「HDMI連動機能」(機能操作編**140**)の設定をしてください。
- AVアンプなどのオーディオ機器がARC(オーディオリターンチャンネル)に対応している場合、従来必要だった光デジタルケーブルを無くし、ARC対応のHDMIケーブル1本で接続できます。ARC対応していないオーディオ機器とHDMIケーブルで接続する場合は、「レグザリンク対応のオーディオ機器で聴くとき」**18**をご覧ください。



お知らせ

- ※ 本機の「レゾリューションプラス」(機能操作編**241**)と同様の高画質機能を備えた機器を接続した場合、本機の機能との相互作用で画面のノイズが目立つことがあります。その場合には、接続機器の高画質機能または本機の「レゾリューションプラス」をオフにしてください。
- レグザリンク対応の東芝レコーダーについては、ホームページ (<https://www.toshiba.co.jp/regza/>)をご覧ください。
- 本機のHDMI入力端子が対応している入力信号およびHDMIケーブルについては次ページをご覧ください。
- パソコンについて
 - 外部モニターで表示できるように設定し、本機が対応しているHDMI入力信号フォーマットの信号(機能操作編**314**)を入力してください(本機が対応している信号を入力しても、パソコンによっては本機が認識できないことがあります)。
 - パソコンのDVD再生ソフトなどで再生した映像は、本機の画面で正しく表示されなかったり、映像の動きが不自然になったりすることがあります。

- 本機に接続できる接続ケーブル(接続コード)の種類と本機で対応している信号の種類および、これらの中で比較した画質・音質の関係を下表に示します。
- 接続ケーブルの端子形状などは一例です。設置場所や機器の仕様などに合わせて、適切な市販品をご使用ください。
- HDMIケーブルは、HDMIロゴ(**HDMI**)の表示があるケーブルをご使用ください。
- ※ 外部機器から1080pの映像信号を入力する場合は、ハイスピードHDMI[®]ケーブルをご使用ください。

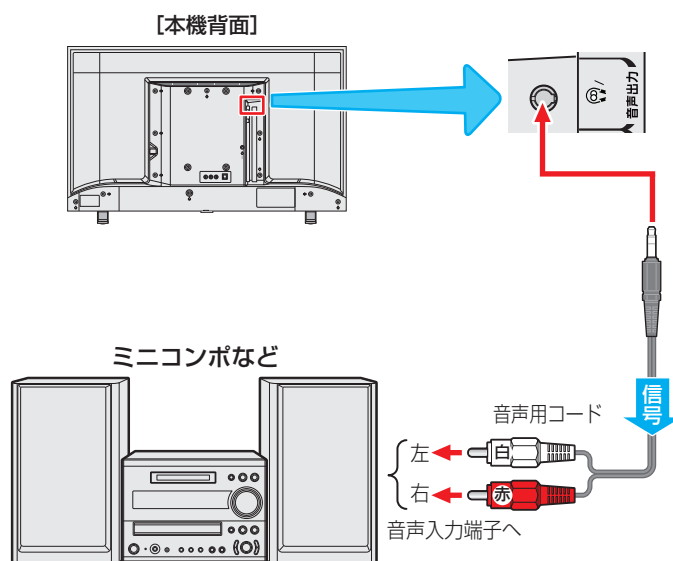
接続ケーブル (接続コード)	画質・音質	本機の入出力対応信号
HDMIケーブル (入力用/ARC用) 	画質・音質 ともに最高	デジタル映像信号 480i、480p、720p、1080i、 1080p デジタル音声信号(入力) リニアPCM、MPEG-2 AAC サンプリング周波数： 48kHz、44.1kHz、32kHz ドルビーデジタル、ドル ビーデジタルプラス サンプリング周波数： 48kHz デジタル音声信号(ARC) リニアPCM、ドルビーデジ タル、ドルビーデジタルプラス サンプリング周波数： 48kHz MPEG-2 AAC サンプリング周波数： 48kHz、44.1kHz、32kHz
映像・音声用 コード(入力用) 	画質・音質 ともに標準	アナログ映像信号 480i アナログ音声信号
音声用コード (入力用) 	標準の音質	アナログ音声信号
オーディオ用 光デジタル ケーブル(出力用) 	最高の音質	デジタル音声信号(光) リニアPCM、ドルビーデジタル サンプリング周波数： 48kHz MPEG-2 AAC サンプリング周波数： 48kHz、44.1kHz、32kHz
音声用コード (出力用) 	標準の音質	アナログ音声信号

著作権保護について

- 本機のHDMI入力端子は、HDCPで著作権保護されている映像の再生に対応しています。
対応HDCPバージョン：
 - HDCP1.4、HDCP2.2

アナログ音声入力端子付のオーディオ機器で聴くとき

- ヘッドホン／音声出力端子を使って、アナログ音声入力端子付のオーディオ機器に接続することができます。
- 「ヘッドホン／音声出力設定」(機能操作編 [265](#)) の「出力設定」を「音声出力」に設定してください。
- 「音声出力設定」(機能操作編 [266](#)) で音量を「固定」または「可変」に設定することができます。



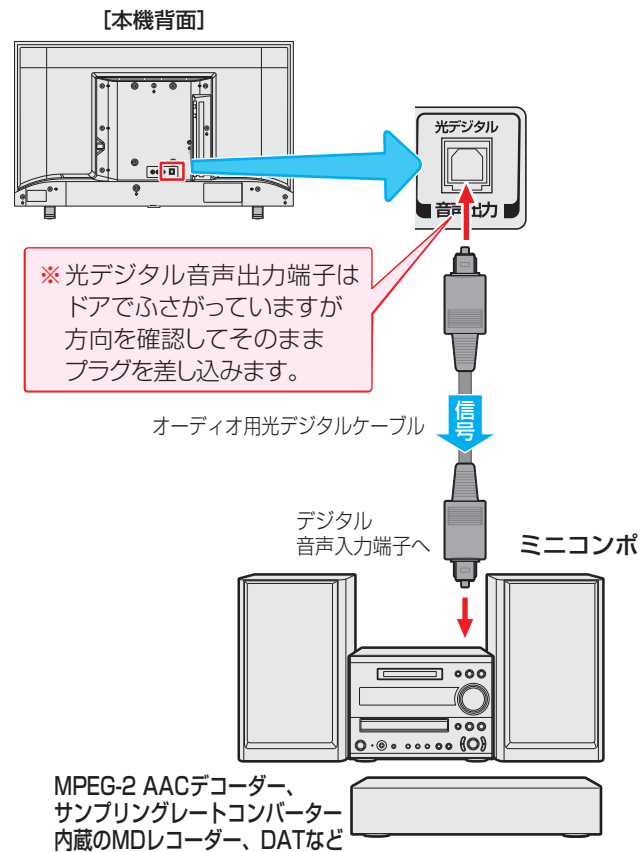
- 注意**
- 接続する機器の取扱説明書もよくお読みください。
 - 他の機器を接続するときは、必ず本機および接続する機器の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。

- お知らせ**
- ヘッドホン／音声出力端子について
 - ドルビー DRC の効果は、ドルビーデジタル音声記録された映像ソフトなどの視聴時に得られます。

外部機器を接続する つづき

デジタル音声(光)端子付のオーディオ機器で聴くとき

- ミニコンボなどのオーディオ機器(サウンドシステム)に接続するとき
 - 本機の音量を最小に調節し、ミニコンボなどのオーディオ機器(サウンドシステム)側で音量を調節してください。
 - オーディオ機器が対応しているデジタル音声入力に従って、「デジタル音声出力」(機能操作編 **262**) の設定をします。
- サンプルレートコンバーター内蔵のMDレコーダーやDATに接続するとき
 - MDレコーダーやDATの光デジタル音声入力端子に接続すれば、高音質で録音して楽しむことができます。
 - 「デジタル音声出力」(機能操作編 **262**) を「PCM」に設定します。
- MPEG-2 AACデコーダー内蔵AVアンプなどに接続するとき
 - デジタル放送のMPEG-2 AAC方式の信号を、MPEG-2 AACデコーダー内蔵AVアンプなどで楽しむことができます。
 - 「デジタル音声出力」(機能操作編 **262**) を「デジタルスルー」に設定します。



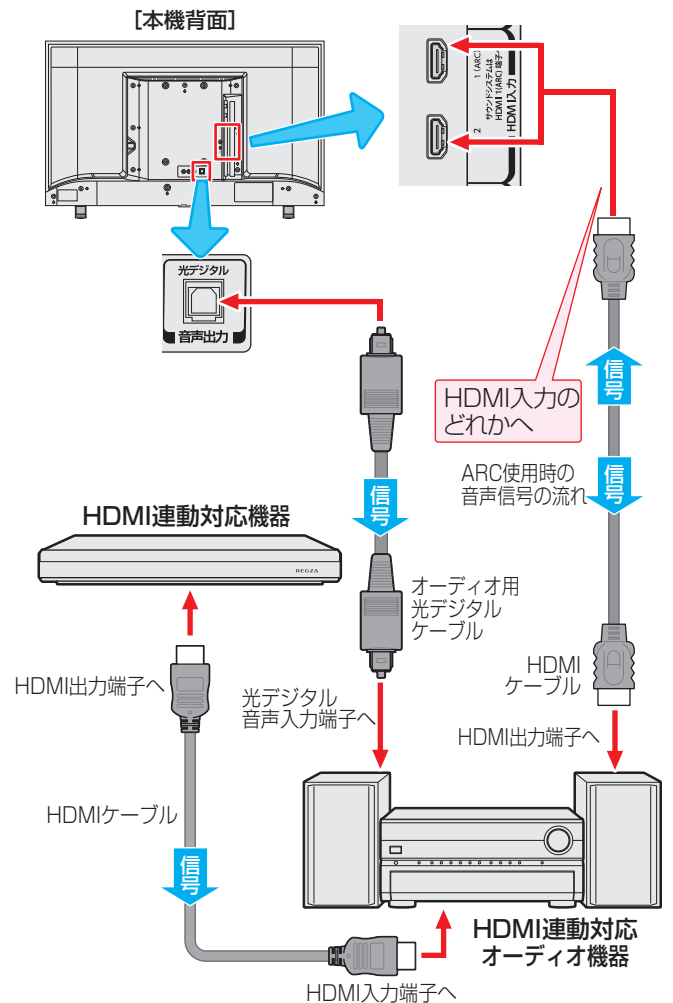
※ 光デジタルケーブルのプラグには2種類の形状があります。接続する機器の端子形状に合ったケーブルをお買い求めください。本機側に差し込むプラグの形状は、です。

お知らせ

- 光デジタル音声出力端子とHDMI入力1 (ARC)端子から出力される信号は、音声メニューおよび音声調整の効果を得られません(ドルビー DRCの効果は、「PCM」や「オート」を選択してリニアPCM信号で出力される場合にだけ得られます)。
- サンプルレートコンバーターを内蔵していないMDレコーダーには、デジタル信号での録音はできません。
- MPEG-2 AAC音声の場合には、主音声・副音声の切替は本機では行われません。MPEG-2 AACデコーダー側で切り換えてください。
- HDMI入力の選択時に、入力信号が著作権保護されている場合は、光デジタル音声出力端子またはHDMI入力1 (ARC)端子から出力される信号を他の機器に録音することはできません。
- 本機のHDMI入力端子が対応している入力信号およびHDMIケーブルについては **173** をご覧ください。
- レグザリンク対応のオーディオ機器(推奨機器)については、ホームページ (<https://www.toshiba.co.jp/regza/>) をご覧ください。

レグザリンク対応のオーディオ機器で聴くとき

- レグザリンク対応のオーディオ機器を本機にHDMIケーブルで接続すれば、本機のリモコンでオーディオ機器の音量を調節するなどの操作ができます。(機能操作編 **151**)
- オーディオ機器のHDMI入力端子にレグザリンク対応機器(HDMI連動機器)を接続することができます。
- オーディオ機器が対応しているデジタル音声入力に従って、「デジタル音声出力」(機能操作編 **262**) の設定をします。また、必要に応じて「HDMI連動設定」(機能操作編 **140**) をしてください。
- レグザサウンドシステムやARC対応のオーディオ機器はHDMI入力1 (ARC)端子に接続してください。



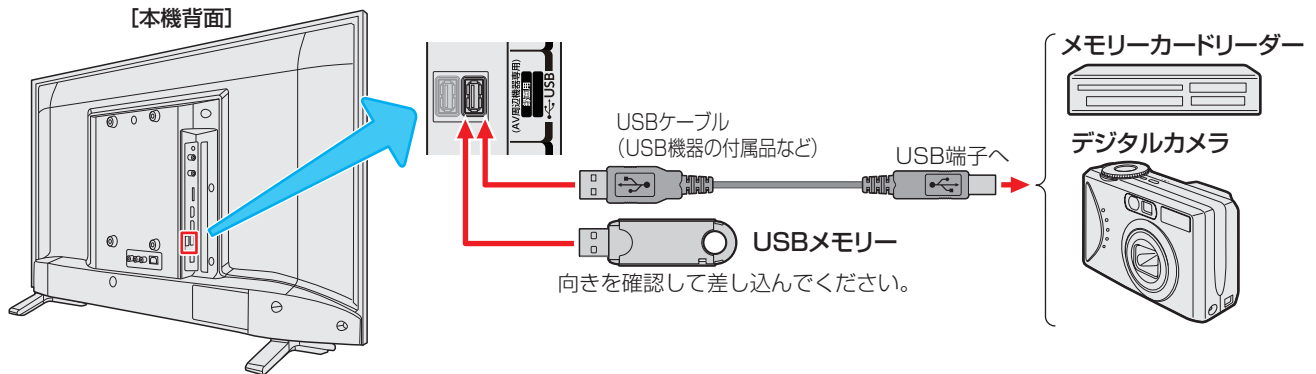
※ ARC対応のオーディオ機器を、ARC対応のHDMIケーブルでHDMI入力1 (ARC)端子に接続する場合は、光デジタルケーブルの接続は不要です。

USB機器を接続する

- USB機器に保存されている動画や写真を本機で見ることができます。
- ※ 暗号化や指紋認証などのセキュリティ機能を有効にした機器や記録メディアなどは、本機では使用できません。

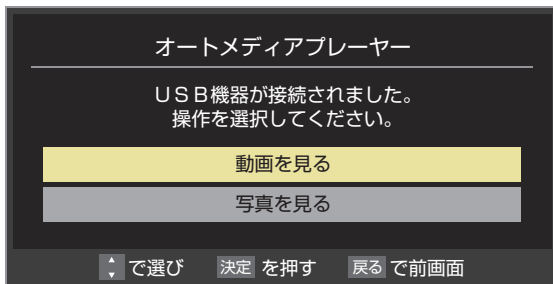


- 以下のUSB機器は、側面本体側のUSB (AV周辺機器専用) 端子に接続してください。USB (通常録画) 端子には接続しないでください。
- USB機器を取りはずすときは、動画や写真の再生を終了させてください。再生中に機器を取りはずしたり、電源を切ったりすると、機器や記録メディアに記録されているデータが破壊されるおそれがあります。
- それぞれの機器の動作や取り扱いなどについては、機器の取扱説明書をよくお読みください。



機器の接続時に操作メニューが表示されるようにする

- 「オートメディアプレーヤー」を「オン」に設定しておく、放送番組や外部入力の視聴時にUSBメモリなどを挿入したときに、操作の選択メニューが表示されます(お買い上げ時は「オン」に設定されています)。



- ※ USBメモリなどを挿入した状態で本機の電源を入れた場合や、放送番組・外部入力の視聴以外の操作をしているときにUSBメモリなどを挿入した場合には、オートメディアプレーヤーの画面は表示されません。

1

設定 を押し、▲・▼と **決定** で「録画・再生設定」⇒「オートメディアプレーヤー」の順に進む



2

▲・▼で「オン」または「オフ」を選び、**決定** を押し

- **オン**……オートメディアプレーヤーの画面が表示されます。
- **オフ**……オートメディアプレーヤーの画面は表示されません。



- すべてのUSB機器の動作を保証するものではありません。
- USBハブを使って本機のUSB端子に接続した場合に認識できるUSBハブは二つで機器数は最大7台です。スロットを複数持つメモリーカードリーダーなどの場合は、1スロットで1台とみなされます。なお、USBハブを使った場合は、正常に動作しないことがあります。

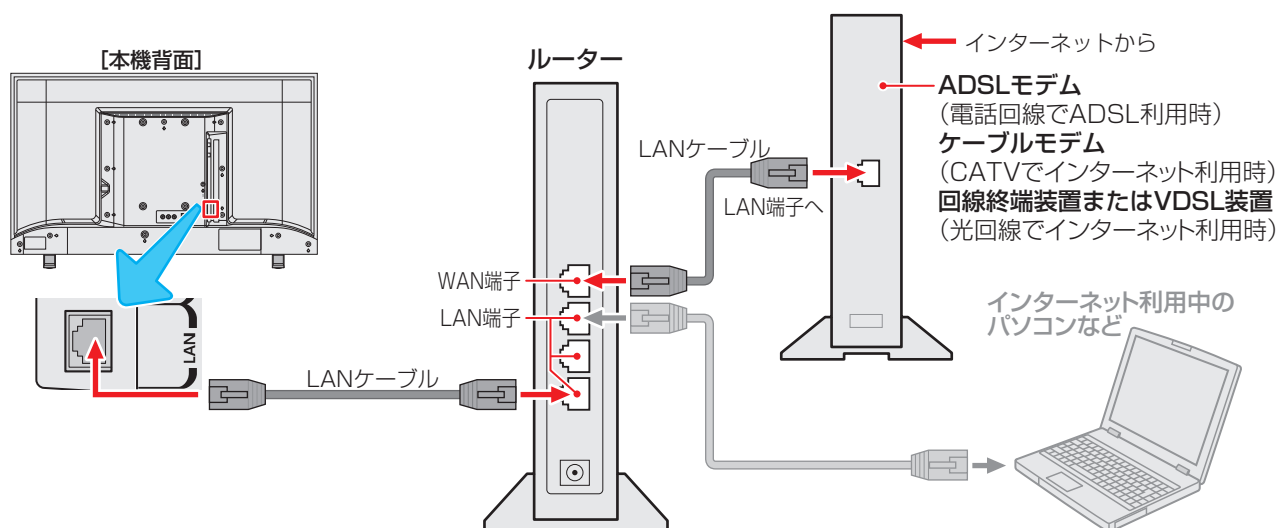
インターネットを利用するための接続をする

- はじめてインターネットを利用する場合は、通信事業者やプロバイダー（インターネット接続業者）との契約が必要です。通信事業者または取り扱いの電気店などにご相談ください。
- 接続方法でご不明な点は、裏表紙に記載の「東芝テレビご相談センター」にお問い合わせください。
- 接続が終わったら、必要に応じて「ネットワーク設定」機能操作編193をしてください。
- すでにパソコンでインターネットを利用している場合は、本機のLAN端子とルーターのLAN端子を市販のLANケーブルで接続するだけです。
- モデムとルーターが一体化されている場合もあります。それぞれの取扱説明書もよくお読みください。

本機をインターネットに接続したときにできること

できること	内容	記載ページ
ネットワークサービス	● クラウドサービスなどのネットワークサービスを楽しむことができます。	機能操作編 224
データ放送の双方向サービス	● データ放送の双方向サービスを利用して、クイズ番組に参加したり、ショッピング番組で買物をしたりすることができます。 ※ 本機は電話回線を利用した双方向サービスには対応していません。	機能操作編 41
ソフトウェアの更新	● 東芝サーバーから本機の最新ソフトウェアをダウンロードすることができます。	36

接続のしかた(有線LANの場合)



ご注意

- LANケーブルを抜き差しするときは、本機および接続機器などの電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。

お願い

- LANケーブルは、カテゴリ5 (CAT5) と表示された規格以上のものをご使用ください。テレビ・ビデオサービスや動画配信サービスなどを利用する場合、カテゴリ3と表示されたケーブルでは、正しく視聴できないことがあります。
- 本機のLAN端子は、必ず電気通信端末機器の技術基準認定品ルーターなどに接続してください。
- 通信事業者およびプロバイダーとの契約費用および利用料金などは、ご自身でお支払いください。
- 以下の場合やご不明な点は、ご契約の回線事業者やケーブルテレビ会社、プロバイダーなどにお問い合わせください。
 - ご契約によっては、本機やパソコンなどの機器を複数接続できないことがあります。
 - 一部のインターネット接続サービスでは、本機を利用できないことがあります。
 - プロバイダーによっては、ルーターの使用を禁止あるいは制限している場合があります。
 - 回線の状況によっては、うまく通信できないことがあります。
 - モデムについてご不明な点など。

お知らせ

- 本機では、ルーターやルーター内蔵モデムの設定はできません。これらの機器によっては、パソコンでの設定が必要な場合があります。
- 本機はダイヤルアップ通信やISDN回線などでインターネットを利用することはできません。
- この取扱説明書で図示していない機器が接続されている場合は、正常に通信できないことがあります。
- ルーターなどが正しく設定されていない回線に本機のLAN端子を接続すると、本機が正常に動作しないことがあります。

リモコンの準備をする

各ボタンの機能

● 本書に記載している操作で使用するリモコンのボタンと、そのおもな機能は以下のとおりです(ボタンによっては、通常の操作時と機能の異なるものがあります)。

入力切換

- 接続した外部入力機器の画面に切り換えます。

時計ボタン

- 時計の表示/非表示を切り換えます。

放送切換ボタン(地デジ、BS、CS)

- 放送の種類を切り換えます。

数字ボタン

- チャンネルを切り換えます。

チャンネル

- テレビのチャンネルを順番に切り換えます。

サブメニュー

- サブメニューを表示します。

おまかせ録画

- 「おまかせ録画」画面を表示します。

次みるナビ

- 「次みるナビ」画面を表示します。

録画リスト

- USBハードディスクに録画した番組のリストを表示します。

カーソル/決定ボタン、 ジャンプカーソルボタン

- メニューや番組表などで項目を選択/決定するとき、文字や数字を入力するときに使用します。
- メニューや番組表などでページを切り換えるときに使用します。

戻る

- 前の操作に戻ります。

dデータ

- データ放送に切り換えます。

設定

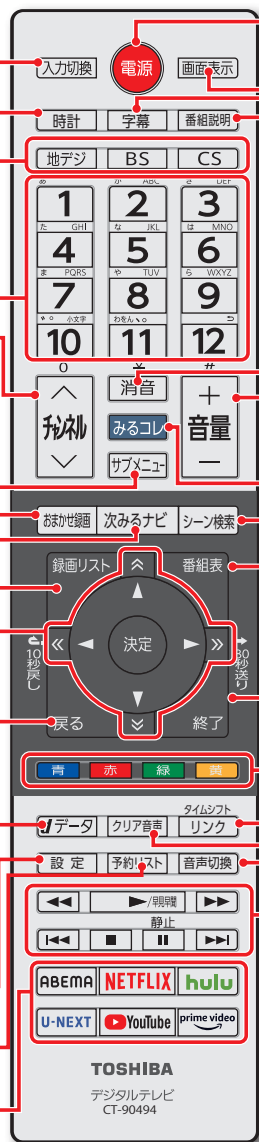
- 設定メニューを表示します。

予約リスト

- 予約リストを表示します。

ネット動画ボタン

- 動画配信サービスの画面に切り換えます。



電源

- 本機の電源を待機/入します。

画面表示

- 視聴中の放送や外部入力の情報を表示します。

字幕

- 字幕の表示/非表示を切り換えます。

番組説明

- 番組説明を表示します。

消音

- 音を一時的に消します。

音量 +/-

- 音量を調節します。

みるコレ

- みるコレ画面を表示します。

シーン検索

- 「シーン検索」機能を使用します。

番組表

- 番組表を表示します。

終了

- 操作を終了します。

カラーボタン (青、赤、緑、黄)

- 画面に表示された各種機能が割り当てられています。

タイムシフトリンク

- タイムシフトリンクメニューを表示します。

クリア音声

- 声を聴き取りやすくします。

音声切換

- 複数音声の番組で音声を切り換えます。

再生操作ボタン

(早送り/早戻し、再生、スキップ、停止、一時停止、バックスキップ)

- 録画した番組や接続した機器の再生や操作を行います。

乾電池を入れる

● 単四形アルカリ乾電池を2本ご使用ください。お買い上げ時は単四形アルカリ乾電池が2本付属されています。

1 電池カバーをはずす

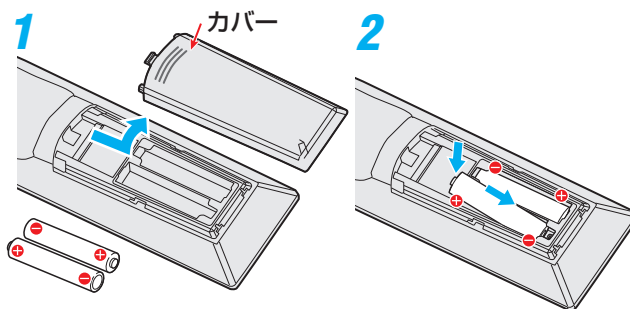
- カバーを下方方向に押しながら下げてから、電池カバーを取りはずします。

2 乾電池を入れる

- 極性表示 \oplus と \ominus を確かめて、間違えないように入れます。

3 電池カバーを閉める

- カバーをはずしたときと逆の手順で閉め、パチンと音がするまでカバー上部を押し込みます。



リモコンコードについて

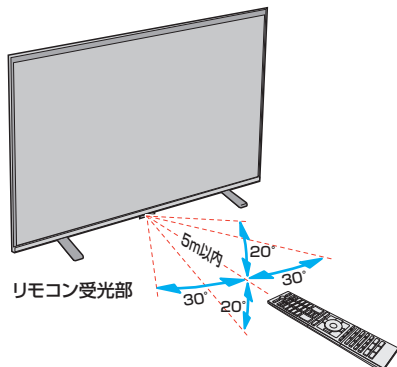
● 本機のリモコンは、リモコンコードの切替ができます(機能操作編 286)。

● お買い上げ時は「リモコンコード1」に設定されています。

※ 「リモコンコード2」に設定して使用していた場合、電池交換などでリモコンから乾電池を取りはずすと「リモコンコード1」に戻ることがありますので、ご確認ください。

リモコンの使用範囲について

- リモコンは、本体のリモコン受光部に向けて使用します。
- リモコン受光部に強い光を当てないでください。リモコンが動作しないことがあります。
- リモコン受光部とリモコンの間に障害物を置かないでください。動作しなかったり、動作しにくくなったりします。



- リモコン受光部から距離 5m以内
角度 左右30°以内、
上下20°以内
- ※ リモコン発光部は二箇所あり、リモコンを立てた状態でも操作できます。

ご注意

■ リモコンの取り扱い

- 落としたり、振りまわしたり、衝撃などを与えたりしないでください。
- 水をかけたり、ぬれたものの上に置いたりしないでください。
- 分解しないでください。
- 高温になる場所や湿度の高い場所に置かないでください。

お願い

■ 乾電池について

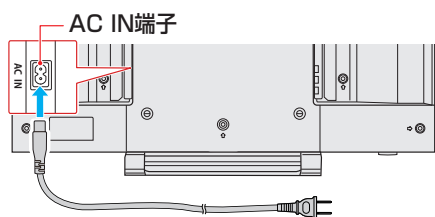
- 乾電池の寿命はご使用状態によって変わります。リモコンが動作しにくくなったり、操作できる距離が短くなったりしたら2本とも新しい乾電池と交換してください。
- 使用済の乾電池は、地方自治体またはお住まいの地域で定められた規則に従って廃棄してください。

電源を入れる

電源を入れる

1 付属の電源コードのコネクターを本機背面のAC IN端子に接続する(24V34)

- 奥までしっかりと差し込みます。
- ※ 電源コードを差し込む際は本体を倒さないよう注意してください。



電源プラグをコンセントに差し込む

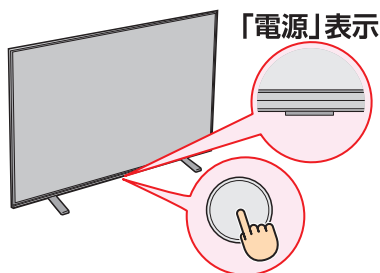
- 電源プラグは交流100Vコンセントに根元まで確実に差し込んでください

「電源」表示が消えているとき(「切」のとき)

「電源」表示が消えているとき、リモコン操作はできません。

1 本体底面の本体ボタンの中央部を押す

- 電源が「入」になり、本体前面の電源表示が緑色に点灯します。



「電源」表示が赤色に点灯しているとき(「待機」のとき)

1 リモコンの「電源」を押す

- 電源が「入」になり、「電源」表示が緑色に点灯します。

電源を「待機」にする／切る

電源を「待機」にする

- 1 電源が「入」のときに、リモコンの「電源」を押す
 - 電源が「待機」(リモコン操作待受状態)になり、「電源」表示が赤色に点灯します。

電源を切る

- 1 「電源」表示が赤色または緑色に点灯しているときに、本体底面の本体ボタンの中央部を押す
 - 電源が「切」になり、「電源」表示が消灯します。
 - ※ リモコンでの操作ができなくなります。

お願い…電源プラグの取り扱いについて

普段はコンセントに差し込んでおく

- 電源プラグは、非常時や機器の接続、お手入れなどをするとき以外はコンセントに差し込んでおいてください。
- ※ 電源プラグを抜いたままにしておく…
 - デジタル放送の番組情報が取得できません。
 - 予約した番組の録画ができません。

電源プラグをコンセントに差し込んでおけば、予約した番組の録画は、電源が「待機」や「切」の場合でも行われます。

電源プラグを抜くときは

- 非常の場合は、速やかに電源プラグをコンセントから抜いてください。
- 外部機器の接続や取りはずし、本体や電源プラグのお手入れ、周辺の清掃などで電源プラグを抜く場合は、その前に以下の確認をしてください。
- 1 「画面表示」を押して、録画中やダビング中の表示が出ないことを確認する
- 2 予約リストを表示させて、電源プラグを抜いている間に実行される録画予約がないことを確認する
- 3 本体ボタンの中央部を押して電源を切る

「はじめての設定」をする

「はじめての設定」について

※「電波の状態が良くありません。」のメッセージが表示されたときは、受信状態が良くなってから「はじめての設定」をやり直すとき **26** の操作で「はじめての設定」をやり直してください。

はじめての設定

はじめて電源を入れたときに、「設定をする前に」画面が表示されます。テレビをお使いになる場所を **◀▶** で選び、**決定** を押します。

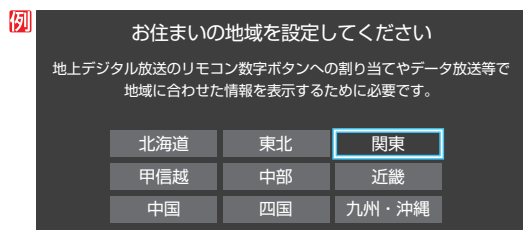


- ご家庭でお使いの場合は、「ご家庭」を選んでください。「店頭」を選ぶと、店頭展示用の設定になります。

① 地域設定

- お住まいの地域に密着したデータ放送(たとえば、地域の天気予報など)や緊急警報放送を視聴できるようになります。

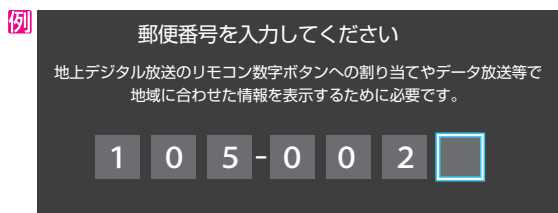
1 お住まいの地方を **▲▼◀▶** で選び、**決定** を押す



2 お住まいの都道府県を **▲▼◀▶** で選び、**決定** を押す

3 お住まいの地域の郵便番号を **1** ~ **10** で入力し、**決定** を押す

- 「0」は **10** で入力します。
- 間違えて入力したときは、**◀** を押してカーソルを戻してからもう一度入力します。
- 郵便番号入力で、上3ケタを入力して **決定** を押すと残りの4ケタは自動的に「0」が入力されます。



- 「地域設定」が終わると、「地上デジタルチャンネル設定」の画面が表示されます。

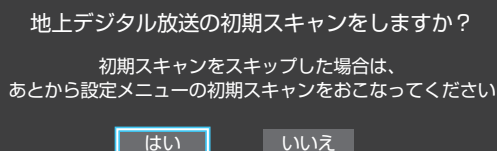
② 地上デジタルチャンネル設定

- 地上デジタル放送のチャンネルを設定します。同時にデータ放送の地域も設定されます。

1 画面の説明を読み、**◀▶** で「はい」を選んで **決定** を押す

※ お住まいの地域で地上デジタル放送が運用されていない場合は、「いいえ」を選んで「**BS・110度CSアンテナレベル確認**」に進みます(わからない場合は、「はい」を選びます)。

例



- 「はい」を選ぶと初期スキャンが自動的に始まります。終了すると、手順 **2** の画面が表示されます。

2 地上デジタルチャンネルの設定内容を確認し、**決定** を押す

- 画面は、リモコンのワンタッチ選局ボタンに設定された地上デジタル放送の放送局を一覧で示しています。

例

チャンネル番号	放送局
1	011 NHK総合・東京
2	021 NHKEテレ東京
3	031 t v k
4	041 日本テレビ
5	051 テレビ朝日
6	061 TBS
7	071 テレビ東京
8	081 フジテレビジョン
9	091 TOKYO MX
10	031 テレ玉
11	---
12	---

- 設定された内容を変更する場合は、「はじめての設定」がすべて終了したあとで、「チャンネルをお好みに手動で設定する」(機能操作編 **274**) の操作をしてください。
- 「地上デジタルチャンネル設定」が終わると、「BS・110度CSアンテナレベル確認」の画面が表示されます。



■ 「地上デジタルチャンネル設定」について

- 「はじめての設定」または「初期スキャン」をすることで、地上デジタル放送の受信可能なチャンネルを本機が探し、リモコンの **1** ~ **12** に自動設定します(「はじめての設定」または「初期スキャン」をしないと、地上デジタル放送は受信できません)。

■ 地方と地域の設定について

- チャンネルの自動設定は、「はじめての設定」で設定された地方、地域に基づいて行われます。
- チャンネル設定の地域は必ずしもお住まいの地域とは限らないため、地域に密着したデータ放送を視聴するために郵便番号を設定します。

「はじめての設定」をする つづき

③ BS・110度CSアンテナレベル確認

- 衛星放送の電波の強さを確認します。

1 アンテナの受信状態を確認し、**決定**を押す

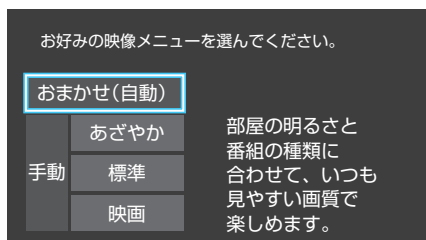


- 「BS・110度CSアンテナレベル確認」が終わると、「映像メニュー設定」の画面が表示されます。

④ 映像メニュー設定

- 本機にはいくつかの「映像メニュー」が用意されています。メニューを選択したときに表示される画面の説明を読んで、好みの映像メニューに設定してください。

1 お好みの映像メニューを▲・▼で選び、**決定**を押す



- 「映像メニュー設定」が終わると、「ネットワーク設定」の画面が表示されます。

⑤ ネットワーク設定

- 本機をネットワークに接続し、ネットワーク機能を利用する場合に設定します。先に設定だけを済ませ、接続はあとから行うこともできます。

1 設定する場合は「はい」を選び、**決定**を押す

- 「いいえ」を選んだ場合は、「⑥ ネットワークサービス利用設定」**26**へ進みます。

2 無線LANまたは有線LANの設定をする

※ 有線LANと無線LANは同時に使えません。

有線LANの設定をする

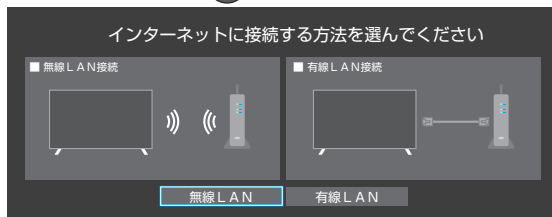
① 「有線LAN」を選び、**決定**を押す



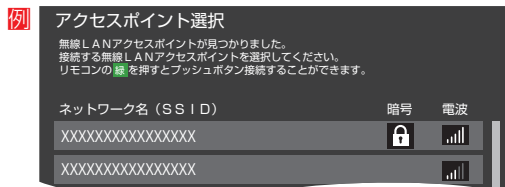
- 手順**3**へ進みます。

無線LANの設定をする

① 「無線LAN」を選び、**決定**を押す



- アクセスポイント選択画面が表示されます。



② 次のどれかの方法でアクセスポイントを設定する

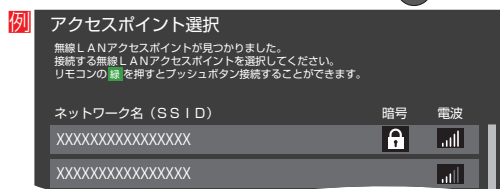
- ・ アクセスポイント選択
- ・ プッシュボタン接続
- ・ PINコード接続

- 接続する無線LANアクセスポイント(ルーター)に合わせて、設定方法を選びます。
- お使いの無線LANアクセスポイント(ルーター)の取扱説明書も、お読みください。

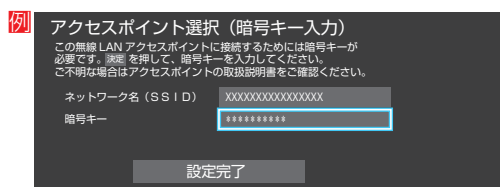
アクセスポイント選択

- 本機が使用可能な無線LANアクセスポイント(ルーター)を検出し、接続します。

① 表示された接続可能な無線LANアクセスポイント(ルーター)から、本機の接続先を選び、**決定**を押す



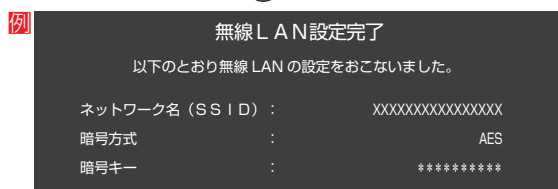
② **決定**を押して文字入力画面を開き、①で選択した無線LANアクセスポイント(ルーター)の暗号キーを入力する



- 暗号キーについては、お使いの無線LANアクセスポイント(ルーター)の取扱説明書をご覧ください。
- 文字入力の方法は、**37**をご覧ください。

③ 「設定完了」を選び、**決定**を押す

④ 設定内容を確認し、**決定**を押す

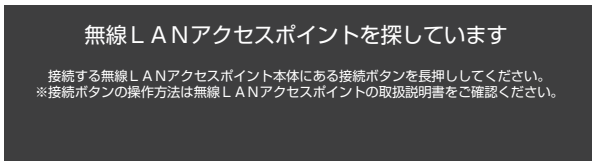


- 手順**3**に進みます。

プッシュボタン接続

- 「接続ボタン」が押されて使用可能になった無線LANアクセスポイント(ルーター)を本機が検出し、接続します。

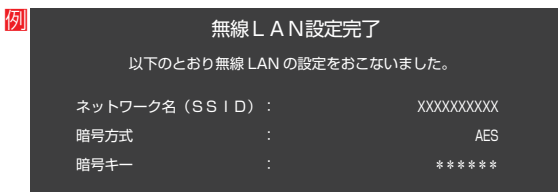
① 緑 を押す



② 無線LANアクセスポイント(ルーター)の接続ボタンを押す

- 本機がアクセスポイント(ルーター)を検出し、接続します。
- 接続に成功すると、設定内容が表示されます。

③ 設定内容を確認し、決定 を押す

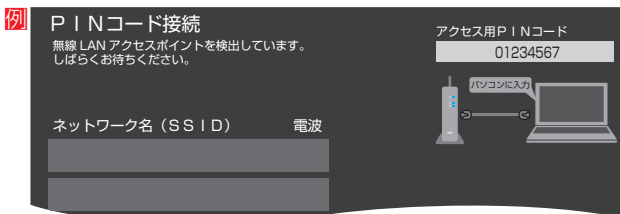


- 手順3に進みます。

PINコード接続

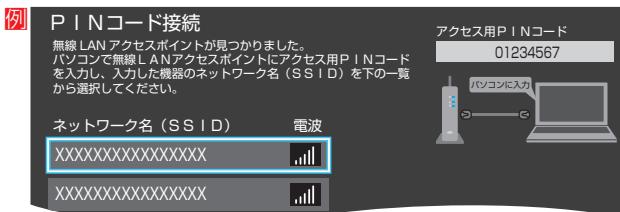
① 黄 を押す

② 画面の指示に従い、表示されたPINコードを無線LANアクセスポイント(ルーター)にパソコンで設定する



- PINコードの設定方法については、お使いのアクセスポイント(ルーター)の取扱説明書をご覧ください。

③ 表示された接続可能なアクセスポイント(ルーター)から、本機の接続先を選び、決定 を押す



④ 完了画面で設定内容を確認し、決定 を押す

- 手順3に進みます。

お知らせ

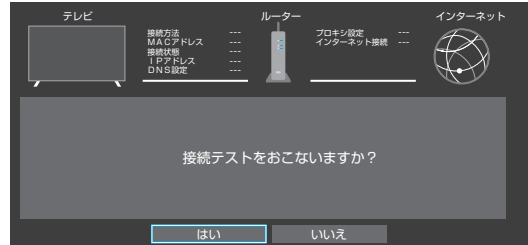
■ 電波強度表示について

- 本機が無線LANアクセスポイント(ルーター)から受信する電波の強弱によって以下のように6段階のイメージで表示されます。

弱 強

3 接続テストをする場合は「はい」を選び、決定 を押す

- 「接続テスト」をしない場合は、「いいえ」を選んで「ネットワークサービス利用設定」に進みます(必要になったときに「インターネットを利用するための設定をする」(機能操作編198)の操作をしてください)。



- 「接続できませんでした。」と表示された場合、有線LAN設定のときは、LANケーブルの接続を確認してから再度接続テストをしてください。無線LAN設定のときは、無線LANの設定を確認してから、再度接続テストをしてください。

4 「インターネットに接続できました。」と表示されたら、決定 を押す

- 「ネットワーク設定」が終わると、「ネットワークサービス利用設定」の画面が表示されます。

「はじめての設定」をする つづき

⑥ ネットワークサービス利用設定

- インターネットに接続して、クラウドサービスなどのネットワークサービスを利用するには、「ネットワークサービス利用設定」を「利用する」に設定します。
 - ※クラウドサービスの開始には、ソフトウェアの更新が必要になる場合があります。

1 ネットワークサービス利用設定の画面の内容を最後まで読み、「利用する」または「利用しない」を選び、「決定」を押す



- 「TimeOn利用規約を表示」を選んで「決定」を押すと、TimeOnの利用規約を確認することができます。もう一度「決定」を押すか、「戻る」を押すと元の画面に戻ります。

2 「設定完了」を選び、「決定」を押す

3 設定完了画面が表示されたら、内容を確認して「決定」を押し、はじめての設定を終了する

- ※ お買い上げ時または初期化後に「はじめての設定」を終了すると、クラウドサービスの設定を促すメッセージが表示されます。「はい」を選ぶとクラウドサービスの設定を開始します（インターネットに接続しているときにメッセージが表示されます）。

「はじめての設定」をやり直すとき

- 「はじめての設定」をしてもアンテナ接続の不具合などで地上デジタル放送が映らなかった場合は、不具合の対処をしたあとで、「はじめての設定」をやり直すことができます。

1 「設定」を押し、▲・▼と「決定」で「初期設定」⇒「はじめての設定」の順に進む

- 「はじめての設定」の説明画面が表示されます。

2 画面の説明を読んで、「決定」を押す

- ワンタッチ選局ボタンのチャンネル設定を手動で好みの設定したあとで「はじめての設定」をやり直すと、手動で設定した内容が消去されます。その場合は、もう一度チャンネルボタン設定をしてください。
- データ放送を視聴している状態で「はじめての設定」をやり直した場合、放送によっては設定終了後そのままの状態では設定内容は反映されません。設定終了後に再度データ放送を選局してください。



■ ネットワークサービスについて

- ネットワークサービス利用設定を「利用する」に設定すると、本機の操作情報（チャンネル切替、入力切替、録画予約、視聴予約、再生履歴、番組複製履歴、番組編集履歴など）、動作状態の履歴情報、本機に接続されたUSBハードディスク等の識別情報や動作状態の履歴情報などや、ご登録いただいた都道府県、性別等の情報が当社または当社の委託先のサーバーで記録されますが、これらの情報から当社が利用者個人を特定することはありません。
- 当社が本機で提供するクラウドサービスのご利用には、住所・氏名・連絡先等の個人情報の入力不要です。（ただし、動画配信サービスによっては、契約が必要な場合があります。ご利用の動画配信サービスなどにご相談ください。）
- サーバーが収集した情報は、本サービスの提供以外に、品質改善やマーケティング、広告配信などの目的で利用することがあり、この目的の範囲内で第三者に提供する場合があります。
- 本サービスは、予告なく休止、終了、または内容を変更する場合があります。
- 本サービス中で、本サービス以外の第三者によって提供されるサービスをご利用いただく場合、各サービス提供者の利用規約およびその他規約が適用されます。本サービス以外の第三者によって提供されるサービスおよびこれに関連する事項について、当社は一切関与いたしません。
- ネットワークサービス利用設定は、あとから変更できます（機能操作編 216）。「利用しない」に設定を変更した場合、それまでにサーバーが収集した本機や本機に接続された機器に関する情報は、サーバーから消去されます。
- クラウドサービスの内容やサーバーが収集した情報の削除方法については、ホームページ（<http://timeon.jp/>）をご覧ください。

録画機器を接続する

録画できる機器と番組

- 本機背面のUSB (通常録画) 端子に接続したUSBハードディスクおよびレグザリンク対応の東芝レコーダー*にデジタル放送番組を録画できます (データ放送、ラジオ放送番組、外部入力 (HDMI1 ~ 2、ビデオ入力)、クラウドサービスやネットワークサービスで視聴している動画配信サービスからの映像・音声は録画できません)。

* レグザリンク対応の東芝レコーダーの接続は「16」をご覧ください。

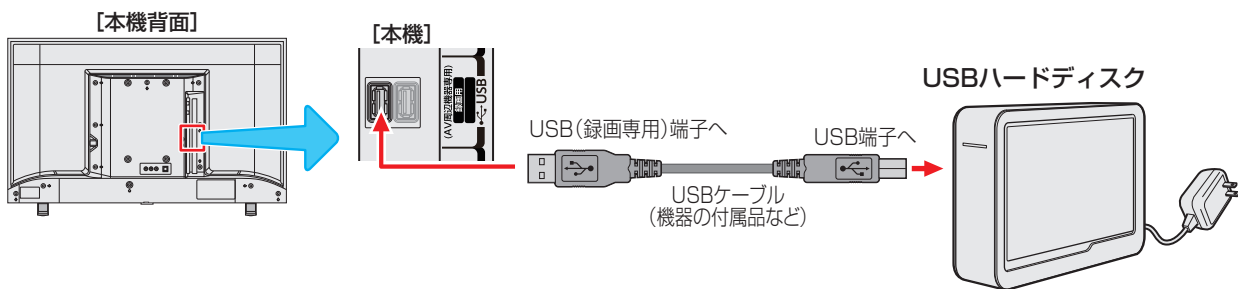
USBハードディスクの接続をする



- パソコンや他のテレビ、録画機器などで使用していたUSBハードディスクを本機に接続して登録すると、それまでに保存されていたデータや録画番組などはすべて消去されます。
- 本機で使用していたUSBハードディスクをパソコンで使用するには、パソコンで初期化する必要があります。その際に、本機で録画した番組はすべて消去されます。
- 本機に接続したUSBハードディスクを取りはずす場合は、未登録の機器を含めて「USBハードディスクの設定をする」の「機器の取りはずし」機能操作編「64」の手順で操作してください。
- USBハードディスクの動作中は、USBハードディスクの電源を切ったり、接続ケーブルを抜いたりしないでください。録画した番組が消えたり、USBハードディスクが故障したりする原因となります。
- 本体側面のUSB端子にUSBバスパワー方式の機器を接続して同時に使用すると、USBハードディスクでの録画動作に障害を与えることがあります。
- USBハードディスクやUSBハブは専用のACアダプターを接続してご使用ください。本機で接続確認済の機器でもACアダプターを接続しない場合は動作保証できません。

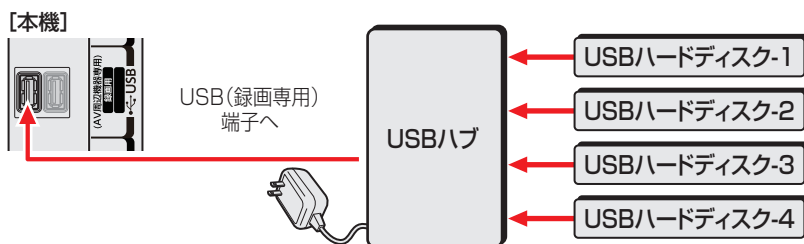
USBハードディスクが1台のとき

- USBハードディスクは、USB (通常録画) 端子に接続します。
 - ※ USB (通常録画) 端子は、本体背面側の端子になります。



USBハードディスクが複数台のとき

- USBハブを使用すれば、複数のUSBハードディスクを接続することができます。
 - ※ 8台までのUSBハードディスクを本機に登録できます。ただし、同時に接続できるのは4台までです。



- 複数の未登録USBハードディスクを接続した状態で本機の電源を入れると、不特定の順番で登録が始まります。USBハードディスクの登録名や接続場所などを特定しやすくするために、1台ずつ接続して登録の処理が終わったら次のUSBハードディスクを接続するようにしてください。
- 登録の手順については、次ページの「USBハードディスクを本機に登録する」をご覧ください。



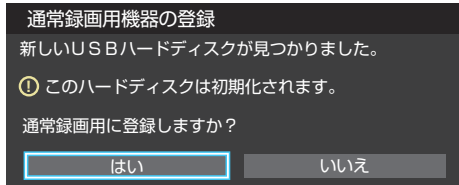
- 複数台のUSBハブを経由して本機にUSBハードディスクを接続することはできません。
- 本機で接続確認済のUSBハードディスクとUSBハブについては、ホームページ (<https://www.toshiba.co.jp/regza>) をご覧ください。
- 接続確認済機器でも、すべての動作を保証するものではありません。

USBハードディスクを本機に登録する

- 本機が未登録のUSBハードディスクを検出すると、「機器の登録」の画面が表示されます。以下の手順で本機に登録します。

1 ◀▶で「はい」を選んで **決定** を押す

- 登録しないときは「いいえ」を選びます。



- ※ 「いいえ」を選んだ場合、そのUSBハードディスクは「機器の登録」の画面で「未登録」となります。「未登録」のUSBハードディスクを登録する場合は、次の「USBハードディスクの設定をする」で「機器の登録」の操作をしてください。

2 初期化の確認画面で、◀▶で「はい」を選んで **決定** を押す

- 登録の処理が始まり、終わると次の手順の画面が表示されます。

3 登録名を変更する場合は、◀▶で「はい」を選んで **決定** を押す

- 表示された登録名のままでよければ「いいえ」を選びます。
- 「はい」を選んだ場合は、文字入力画面が表示されます。登録名を入力して、**決定** を押します。
- 文字入力の方法は、**37** をご覧ください。
- ◡(スペース)だけの名称は登録できません。

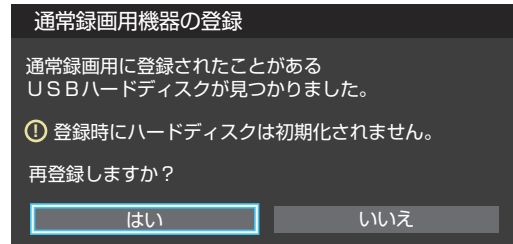
4 登録したUSBハードディスクを録画機器にする場合は、◀▶で「はい」を選んで **決定** を押す

- 録画や予約などでの録画機器の初期候補が、今登録したUSBハードディスクになります。
- ※ 録画機器は、録画や予約の際に変更することもできます。
- **決定** を押したあと、説明画面が表示された場合は、画面の説明を読んでから **決定** を押します。

5 登録結果の内容を確認し、**終了** を押す

使用履歴のあるUSBハードディスクを接続したとき

- 本機に登録して使用し、登録を解除したUSBハードディスクを接続した場合、以下の確認画面が表示されます。



- 「はい」を選んで **決定** を押すと登録の処理が始まり、終わると登録機器のリスト画面が表示されます。

※ 再登録の場合、ハードディスクは初期化されません。

修理などで、本機内部のハードディスク登録情報記憶部が含まれる部分を交換した場合や、本機を交換した場合は、それまでに使用していたハードディスクは未登録(新しいハードディスク)として認識され、初期化して使用することになります。初期化の際に録画内容はすべて消去されます。

ホームネットワークについて

- ホームネットワーク(家庭内LAN)に本機とネットワークメディアサーバー、DTCP-IP対応サーバーなどを接続し、録画番組や動画、静止画を再生して楽しむことができます。

ネットワークメディアプレーヤー

- 本機はネットワークメディアプレーヤー(動画/静止画)です。ネットワークメディアサーバーが公開しているコンテンツを本機で視聴することができます。

DTCP-IP対応サーバー

- DTCP-IP(「Digital Transmission Content Protection over Internet Protocol」の略)は、ネットワーク上でデジタル放送などの著作権保護付データを配信するための規格です。この規格に対応すれば、著作権保護付データ(たとえば、1世代だけ録画が許された番組など)をホームネットワーク上で扱うことができます。また、ホームネットワーク外へのデータ伝送を禁止することで、著作権保護付データを保護します。
- 本機はDTCP-IPに対応しています。本機でUSBハードディスクに録画した番組を、DTCP-IP方式で著作権を保護しながらDTCP-IP対応サーバー(DTCP-IP対応サーバー機能を持つNASやレコーダーなど)に本機の操作でダビングすることができます。ダビングした番組は、他のDTCP-IP対応テレビで視聴することができます。
 - ※ ダビング時の動作は番組のコピー制御情報に従います。機器によってはダビングできない場合があります。
 - ※ ダビング後のコンテンツでは、再生時間の表示がずれる場合があります。

スカパー！プレミアムサービスの番組の配信に対応したサーバー

- スカパー！プレミアムサービスの番組の配信に対応したサーバーとは、以下のどれかの機能を持つサーバーです。
 - ・ スカパー！プレミアムサービス対応チューナー、スカパー！プレミアムサービス光対応チューナーとLAN経由で接続して、スカパー！の番組をデジタル録画する機能を持つサーバー。これらを「スカパー！プレミアムサービスLink」(録画)対応製品と呼んでいます。
 - ・ スカパー！の番組を録画・配信することができるスカパー！プレミアムサービスチューナー(DVR)。
- 本機は「スカパー！プレミアムサービスLink」(視聴)機器としての機能を備えています。スカパー！プレミアムサービスの番組の配信に対応したサーバーが公開しているスカパー！の「放送中の番組」と「録画した番組」を視聴することができます。
 - ※ ラジオ番組は視聴できません。
 - ※ サーバーが放送中の番組の配信に対応していない場合、「放送中の番組」の視聴はできません。
 - ※ 4K放送は視聴できません。

スカパー！
プレミアムサービス
Link

レグザリンク・ダビング

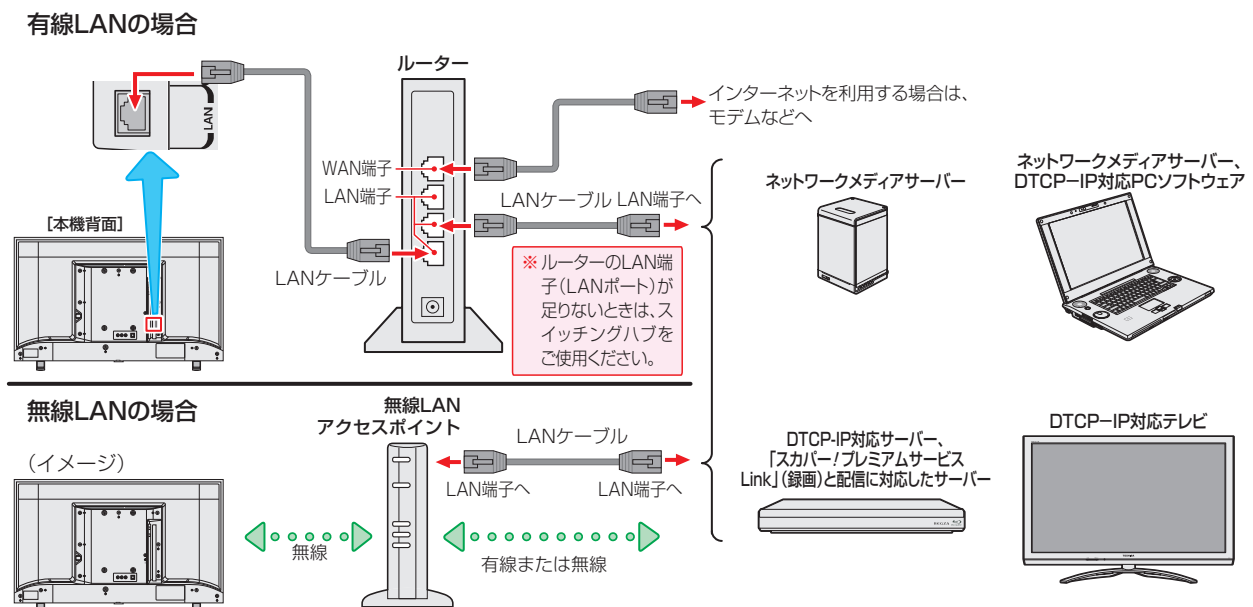
- 本機でUSBハードディスクに録画した番組を、レグザリンクダビング対応のDTCP-IP対応サーバーや、東芝レコーダーにダビングすることができます。

お知らせ

- ネットワークメディアサーバーが公開している一部のコンテンツ(本機対応フォーマット以外のコンテンツなど)は再生できないことがあります。
- DTCP-IP対応サーバーへのダビングを除き、他のネットワーク機器に本機から録画・ダビング・録音などをすることはできません。
- ネットワークメディアサーバーを接続した場合、2台目以降の機器が機器選択の画面に表示されるまでに15分程度の時間がかかることがあります(機器選択画面を終了させて、もう一度機器選択画面を出すと表示されることもあります)。

機器を接続する

- 有線LANのプロードバンドルーターの場合は、本機と機器を接続します。無線LANアクセスポイントの場合は、本機を無線LANで接続する設定をします(有線LANか無線LANのどちらかを選びます。両方を同時に使用することはできません)。



お知らせ

- 無線LANで接続していて、ネットワーク経由で映像を取得しているときに、その映像が止まったりノイズが出たりする場合は、無線LANアクセスポイントおよび本機の設定を見直すか、有線LANで接続してください。
- すべての無線LANアクセスポイントでの接続を保証するものではありません。
- 本機の設置環境によっては、無線LANを使用できないことがあります。
- 無線LANをご使用の場合、暗号設定が「暗号なし」のときは、デジタル放送などの著作権保護付データをホームネットワーク上で視聴することができません。著作権保護無し of データを取り扱う場合も、無線LANのセキュリティ設定を行うことを強く推奨します。

ホームネットワークの設定をする

機器のネットワーク設定を確認する

- 「アドレス設定 (IPv4)」の「IPアドレス」、「DNSアドレス」ともに「自動取得」で使用する前提です。「IPv6接続」が「利用する」の場合は、「アドレス設定 (IPv6)」の「IPアドレス」、「DNSアドレス」も「自動取得」で使用する前提です。
 - 接続機器側でMACアドレスによるアクセス制限をしている場合は、本機からのアクセスを許可するように設定してください。本機のMACアドレスは、「ネットワーク情報」(機能操作編 213) の操作で確認できます。
 - 本機で接続機器のネットワーク設定はできませんので、あらかじめルーターや接続機器側で設定してください(ルーターや接続機器の取扱説明書をご覧ください)。
- 1 ルーター、ネットワーク接続機器、本機の順に電源を入れる
 - 2 「ネットワーク情報」(機能操作編 213) の操作で「アドレス情報 (IPv4)」の「IPアドレス」を確認する
 - 3 「IPv6接続」が「利用する」の場合は、「ネットワーク情報」(機能操作編 213) の操作で「アドレス情報 (IPv6)」の「アドレス」も確認する
- ホームネットワーク接続機器のIPアドレスは、プライベートアドレス(下表の範囲のどれか)でなければなりません。
 - 本機でインターネットにアクセスする場合、双方向サービス、クラウドサービスなどを利用する場合は、ご使用のインターネット接続環境によっては本機のアドレスをグローバルアドレスに設定し直す必要があります。
 - 以下のアドレスには設定できません

区分	使用できるアドレスの範囲
A	10.0.0.0 ~ 10.255.255.255
B	172.16.0.0 ~ 172.31.255.255
C	192.168.0.0 ~ 192.168.255.255

設定不可アドレス一覧

IPアドレス	
0000 0000 0000 0000 0000 0000 0000 0000	未指定アドレス あるいは デフォルトルート (::/128, ::/0)
0000 0000 0000 0000 0000 0000 0000 0001	ローカルアドレス (::1/128)
0100 0000 0000 0000 **** * ** *	破棄するトラフィック (0100::/64)
2001 001* **** * ** *	ORCHIDアドレス (2001:0010::/28)
2001 002* **** * ** *	ORCHIDv2アドレス (2001:0020::/28)
2001 0db8 **** * ** *	文書記述用アドレスプレフィックスを持つアドレス (2001:db8::/32)
fe8* **** * ** *	リンクローカルプレフィックスを持つアドレス (fe80::/10)
fe9* **** * ** *	リンクローカルプレフィックスを持つアドレス (fe80::/10)
fea* **** * ** *	リンクローカルプレフィックスを持つアドレス (fe80::/10)
feb* **** * ** *	リンクローカルプレフィックスを持つアドレス (fe80::/10)
fff* **** * ** *	マルチキャストアドレス (ff00::/8)
<プレフィックス長により異なる、下は64の例>	
**** * ** * 0000 0000 0000 0000	「サブネット・ルータ・エニーキャストアドレス」 (インターフェイスIDがオール0)
デフォルトゲートウェイ、DNSアドレス	
0000 0000 0000 0000 0000 0000 0000 0000	未指定アドレス あるいは デフォルトルート (::/128, ::/0)
0000 0000 0000 0000 0000 0000 0000 0001	ローカルアドレス (::1/128)
0100 0000 0000 0000 **** * ** *	破棄するトラフィック (0100::/64)
2001 001* **** * ** *	ORCHIDアドレス (2001:0010::/28)
2001 002* **** * ** *	ORCHIDv2アドレス (2001:0020::/28)
2001 0db8 **** * ** *	文書記述用アドレスプレフィックスを持つアドレス (2001:db8::/32)
fff* **** * ** *	マルチキャストアドレス (ff00::/8)

接続機器から本機を操作するための設定をする ~外部連携機能~

本機の名称

- ホームネットワークに接続された機器から本機を識別するための情報(デバイスネーム)を設定することができます。
- お買い上げ時は本機の形名(例: REGZA-32V34)に設定されています。

1 **設定** を押し、▲、▼と **決定** で「ネットワーク・サービス設定」⇒「外部連携設定」⇒「本機の名称」の順に進む

2 **決定** を押し、文字入力画面で新しい名前を入力する

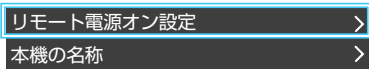
- 文字入力の方法は、**37** をご覧ください。
- 15文字以内で設定します。使用できる文字は半角大文字英数字と「-」です。

接続機器を本機から起動するための設定をする ～リモート電源オン機能～

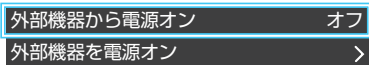
- ネットワーク接続での起動(Wake on LAN)に対応した機器を相互に登録しておく、番組再生などの際に接続機器または本機が起動していないときに本機または接続機器の操作で相手の機器を起動する(電源を入れる)ことができます。
- 対象の機器を接続して電源を入れ、以下の操作をします。
- ※ 接続機器(Wake on LAN対応機器)側でも以下と同様の設定をしてください(接続機器の取扱説明書をご覧ください)。
 - 本機のデバイスネームについては前ページの「本機の名称」を参照してください。本機のMACアドレスは「ネットワーク情報」(機能操作編 213)の操作で確認することができます。

本機のリモート電源オン機能を設定する

- 1 「設定」を押し、▲・▼と決定で「ネットワーク・サービス設定」⇒「外部連携設定」⇒「リモート電源オン設定」の順に進む



- 2 ▲・▼で「外部機器から電源オン」を選び、決定を押し



- 3 ▲・▼で「オン」または「オフ」を選び、決定を押し

- 「オン」に設定すると、Wake on LAN対応機器から本機を起動できるようになります。

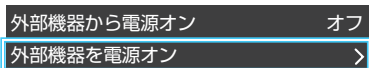


- 「オン」に設定すると、待機時の消費電力が増えます。

本機から起動する機器を登録する

- 1 「設定」を押し、▲・▼と決定で「ネットワーク・サービス設定」⇒「外部連携設定」⇒「リモート電源オン設定」の順に進む

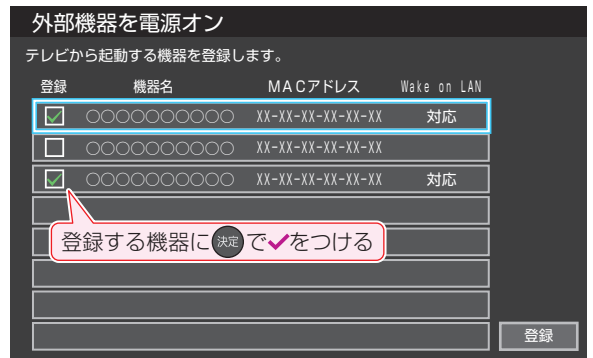
- 2 ▲・▼で「外部機器を電源オン」を選び、決定を押し



- 「外部機器を電源オン」の画面が表示されます。対象機器がない場合は、内容が空欄になります。

- 3 本機から起動する機器を▲・▼で選び、決定を押し(登録する)

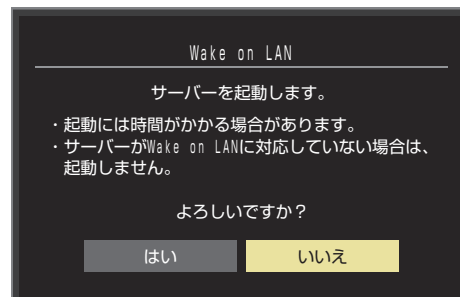
- 決定を押すたびにとが交互に切り換わります。本機から起動する機器にをつけます。
- 「Wake on LAN」の欄の「対応」は、対応機器として本機が認識できた場合に表示されます。対応機器であっても本機が認識できない場合は表示されません。



- 4 選択が終わったら、▲・▼・◀・▶で「登録」を選んで決定を押し

再生時の機器選択について

- 本機の番組再生などの際に、登録した機器が起動していない場合は「機器選択」の画面に薄くなって表示されます。その機器を選択して決定を押すと「Wake on LAN」の画面が表示されます。
- 「Wake on LAN」の画面で、「はい」を選んで決定を押すと、機器を起動することができます。



- 登録した機器がWake on LANに対応していない場合は起動できません。
- 登録した機器がWake on LANに対応していても、機器の状態によって起動できないことがあります。

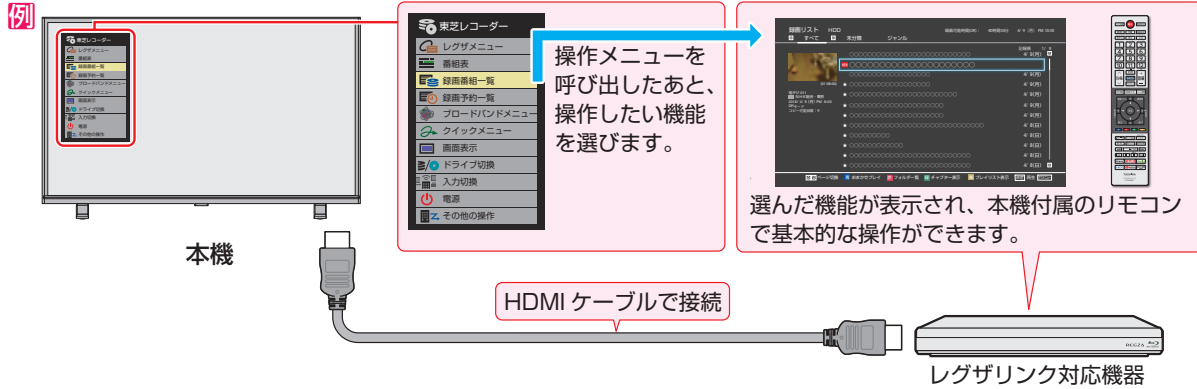
レグザリンクについて

レグザリンク機能でできること

- 本機は以下のレグザリンク機能(HDMI連動)に対応しています。

本機のリモコンで対応機器の操作をする

- 本機に接続したレグザリンク対応の録画機器や再生機器などの操作が本機のリモコンでできます(機能操作編 **144**)。



電源の入/切や入力切り換えの動作を連動させる

- ワンタッチプレイ …… レグザリンク対応機器を操作すると、機器に連動して本機の電源がはいる、操作した機器に合わせて入力が切り換わります。
- システムスタンバイ …… 本機の電源を「切」にすると、機器も連動して電源が「切」(待機)になります。

対応機器に録画・予約をする

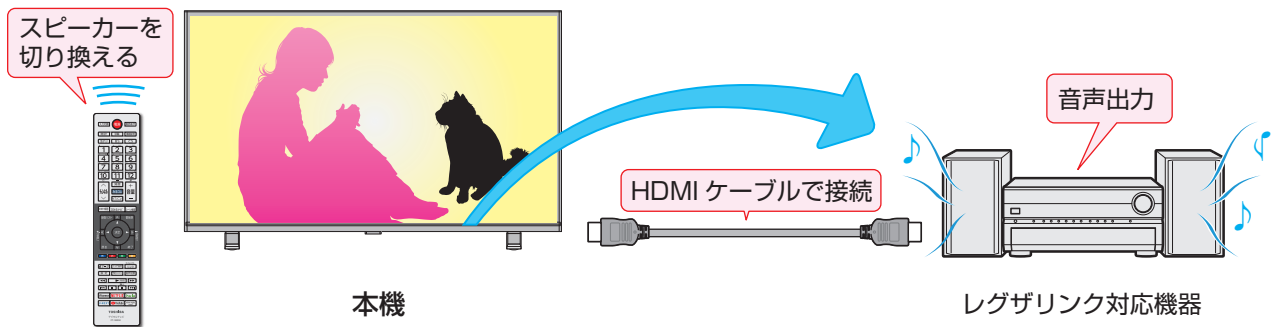
- 本機に接続したレグザリンク対応機器に録画や予約をすることができます(機能操作編 **76**)。






オーディオ機器と連携させる

- オーディオ機器に接続されているスピーカーで聴いたり、本機のリモコンでオーディオ機器の音量を調節したりすることができます。また、ジャンルに適した音声オーディオ機器のスピーカーから出るようにすることもできます(機能操作編 **151**)。

例 音声を対応機器のスピーカーで聴く



準備をする

機器	接続・設定	機器についてのお知らせ
HDMI連動対応の映像機器やオーディオ機器	映像機器の接続：  オーディオの接続：  本機の設定：（機能操作編  ）	<ul style="list-style-type: none">● レグザリンク(HDMI連動)機能を使うには、接続機器それぞれの設定が必要です。詳しくは、接続する機器の取扱説明書をご覧ください。● レグザリンク対応の映像機器やオーディオ機器については、ホームページ(https://www.toshiba.co.jp/regza/)をご覧ください。

HDMI連動機能について

- 本機のレグザリンク(HDMI連動)機能では、HDMIで規格化されているHDMI CEC (Consumer Electronics Control)を利用し、機器間で連動した操作をすることができます。
 - 本機とレグザリンク対応の東芝レコーダーなど当社推奨の機器をHDMIケーブルで接続することで利用できます。
 - ・「録画・予約する」の章に記載されているレグザリンク対応の東芝レコーダーへの録画・予約の操作も、HDMI連動機能を利用したものです。
 - 接続確認済機器以外の機器をHDMIケーブルで接続した場合に一部の連動操作ができることがありますが、その動作については保証の対象ではありません。
 - 接続確認済機器であっても、機器によっては一部の連動操作ができないことがあります。
 - HDMI連動機器の接続、設定を変更した場合は以下の操作をしてください。
 - ・ 接続機器の電源をすべて「入」の状態にして、本機の電源を入れ直してください。
 - ・ すべての接続機器の動作を確認してください。
- ※ 機器に割り振られる番号は接続形態によって変化することがあります。

オーディオ機器について

- オーディオ機器の入力状態によっては、本機から音声がでないことがあります。
- オーディオ機器の連動操作中にオーディオ機器側の入力を切り換えると、実際の映像と画面右上の接続機器表示が一致しないことがあります。

オンキヨー製オーディオ機器でHDMI連動機能を利用する場合のお願い

- 対象機種については、ホームページ(<https://www.toshiba.co.jp/regza/>)の接続確認済み機器をご覧ください。
 - オーディオ機器の電源プラグをコンセントに差し込む前に、本機の電源を「入」にしてください。この順番が逆になると、HDMI連動機能を使用したときにオーディオ機器が正しく動作しないことがあります。その場合は本機の電源を入れた状態で、オーディオ機器の電源を入れ直してください。
- ※ 停電のあとやブレーカーの操作などで本機とオーディオ機器の電源が同時にはいった場合にも、上記の操作が必要になることがあります。

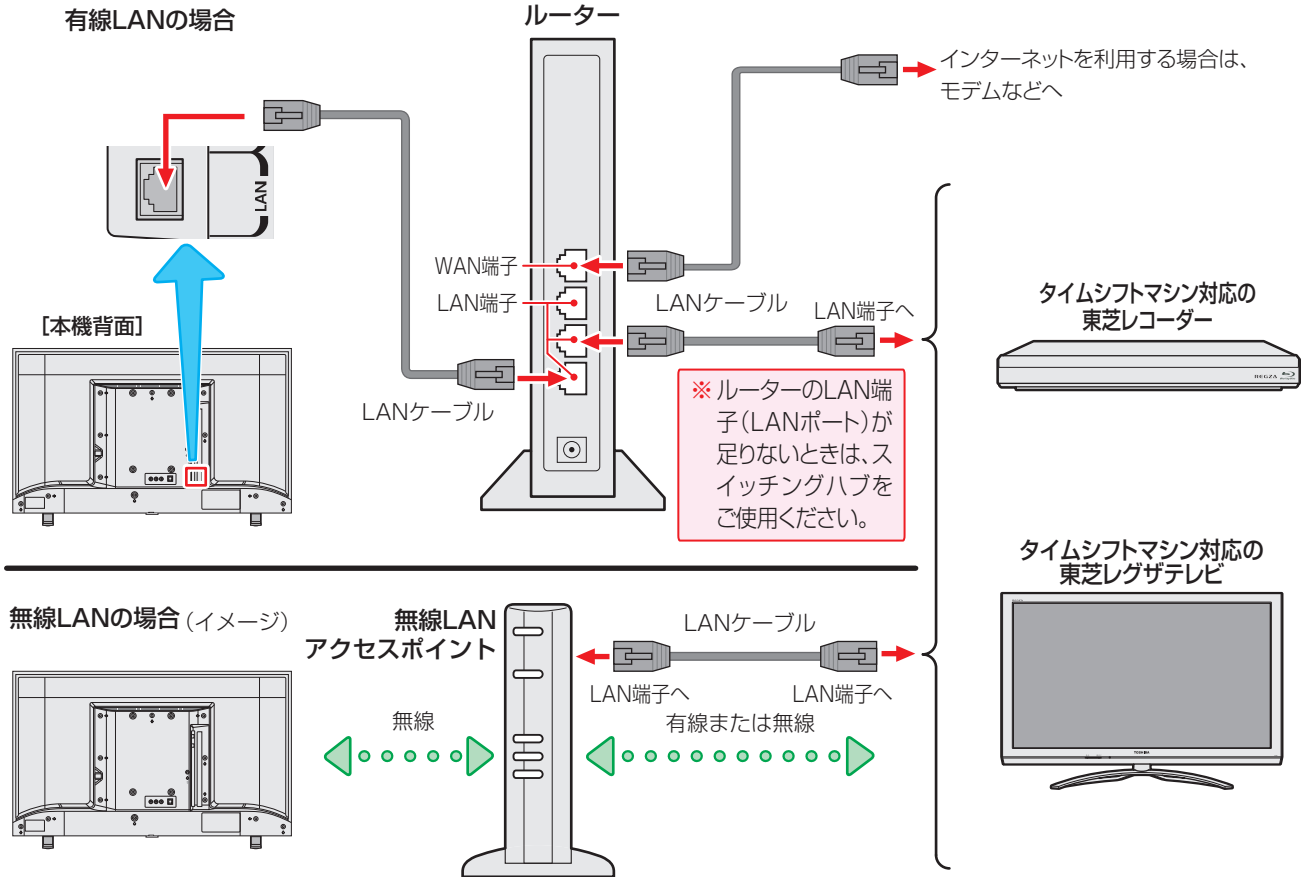


- レグザリンク対応機器については、ホームページ (<https://www.toshiba.co.jp/regza/>) でお知らせしています。
- ※ 推奨機器の場合でもすべての操作ができるわけではありません。本機のリモコンで操作できないときは、機器のリモコンで操作してください。
- システムスタンバイについて
 - 省エネ設定の機能などで本機が待機状態になったときも同時に機器側の電源が「待機」になります。
 - 接続機器側がシステムスタンバイに対応している場合、接続機器の電源を「待機」にしたときに本機の電源も「待機」にすることができます。

タイムシフトリンク機能の接続・設定をする

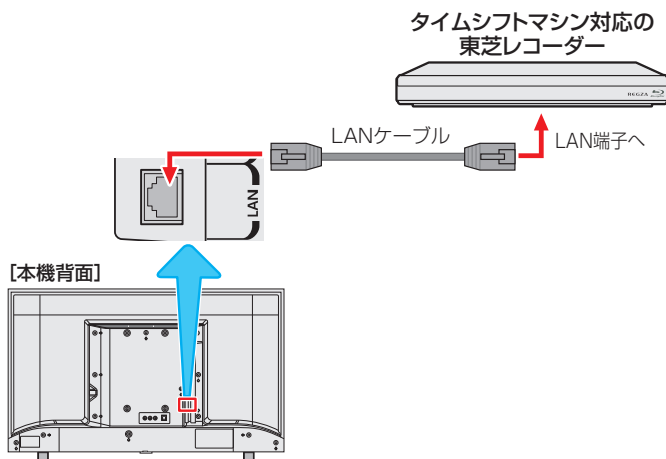
- タイムシフトリンク機能は、同一ネットワーク上に接続した、ホームサーバー機能が搭載されている他のタイムシフトマシン対応の東芝レコーダーや東芝レグザのタイムシフトマシン録画の番組を、本機で再生したり操作したりできる機能です。
- ※ タイムシフトリンク機能を利用するには、ホームネットワークでの接続と設定 **29** ~ **31**、およびタイムシフトリンク機能の設定が必要です。

機器を接続する



本機とタイムシフトマシン対応の東芝レコーダーを直接接続する場合

- ホームネットワークやインターネットへの接続をしない場合や、他のネットワーク機器の通信による影響を受けないようにしたい場合は、本機と直接接続します。
- ※ 設定は、「本機と東芝レコーダーを直接接続する場合」(機能操作編 **69**) を参照してください。



タイムシフトリンク機能を使う設定をする


- タイムシフトリンク機能で操作する機器を選びます。
- タイムシフトリンク機能で連携する機器の電源を入れて、サーバー機能の設定をしてから、以下の操作をしてください。

1 **設定** を押して、▲・▼と **決定** で「ネットワーク・サービス設定」⇒「タイムシフトリンク設定」⇒「機器の登録」の順に進む

2 ▲・▼を押して、タイムシフトリンク機能で使用する機器を選び、**決定** を押す

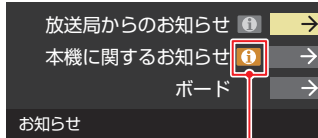
- 選んだ機器のタイムシフトマシン録画番組を、過去番組表に表示したり、再生したりできます。
- ※ 選んだ機器のネットワークの状態や接続を変更したときに、本機でタイムシフトリンク機能を使用する機器として認識できなくなった場合は、上記の操作で再度機器を選んでください。
- ※ 「使用しない」を選んだ場合は、タイムシフトリンク機能は動きません。

お知らせを見る

- お知らせには、「本機に関するお知らせ」、「放送局からのお知らせ」、「ボード」の3種類があります。
- 未読のお知らせ(「ボード」を除きます)があると、チャンネル切替時や画面表示を押したときに、画面に「お知らせアイコン」が表示されます。

1  を押し、▲・▼と  で「その他の操作」⇒「お知らせ」の順に進む

2 ▲・▼でお知らせの種類を選び、 を押す



未読のお知らせはオレンジ色で表示されます。

- 放送局からのお知らせ…デジタル放送局からのお知らせです。
- 本機に関するお知らせ…本機が発行したお知らせです。
- ボード……………110度CSデジタル放送の視聴者に向けたお知らせです。


3 読みたいお知らせを▲・▼で選び、 を押す

- 選択したお知らせの内容が表示されます。

画面に「本機のお知らせを確認」が表示されたときは

 本機のお知らせを確認

1  を押す

- 「本機に関するお知らせ」が表示されます。
- お知らせが複数件ある場合は、「本機に関するお知らせ」一覧が表示されます。▲・▼で確認するお知らせを選び、 を押して表示させます。

「本機に関するお知らせ」を削除するには

※ 削除できるのは「本機に関するお知らせ」のみです。

1 「本機に関するお知らせ」の画面で、 を押す

2 ◀▶で「はい」を選び、 を押す

※ 本機に関するお知らせがすべて削除されます。



■ 「お知らせ」について

- 「放送局からのお知らせ」は、地上デジタル放送が7通まで記憶され、BSデジタル放送と110度CSデジタル放送は、合わせて24通まで記憶されます。放送局の運用によっては、それより少ない場合もあります。記憶できる数を超えて受信した場合は、古いものから順に削除されます。
- 「本機に関するお知らせ」は、既読の古いものから順に削除される場合があります。
- 「ボード」は110度CSデジタル放送のそれぞれに対し、今送信されているものが50通まで表示されます。
- 「お知らせアイコン」は、未読のお知らせが1件でも残っていると表示されます。

B-CASカード情報を確認する

- B-CASカードの状態やID番号などをテレビ画面で確認することができます。

1  を押し、▲・▼と  で「放送受信設定」⇒「B-CASカード情報」の順に進む

- B-CASカードの情報が表示されます。

B-CASカード情報	
カード識別番号	XXXX
カードID番号	XXXX-XXXX-XXXX-XXXX-XXXX
状態	正常に動作しています。

2 情報を確認したら、 を押す

ソフトウェアを更新する

ソフトウェアの更新機能について

- 本機は、内部に組み込まれたソフトウェア(制御プログラム)で動作するようになっています。
- お買い上げ後、より快適な環境でお使いいただくために、ソフトウェアを更新する場合があります。
- 更新用のソフトウェアはBSデジタルや地上デジタルの放送電波で送られてきます。本機は、放送電波で送られてくる更新用のソフトウェアを自動的にダウンロードし、内部ソフトウェアを自動的に更新する機能を備えています。ネットワークに接続している場合は、ネットワーク経由でソフトウェアを自動的にダウンロードし、更新することもできます。
- ソフトウェアダウンロード情報をホームページ(<https://www.toshiba.co.jp/regza/support/>)でお知らせしています。
 - 放送電波を利用したソフトウェアのダウンロードは、都度、限られた日時に行われます。
- 電源プラグが抜かれていたなどの事情で自動ダウンロードができなかった場合は、都合のよいときにインターネットを利用して東芝サーバーから更新用のソフトウェアを入手することができます。
- ソフトウェアの更新中は電源プラグを抜かないでください。ソフトウェアの更新が正常に行われず、本機が起動しなくなるおそれがあります。
 - ソフトウェアの更新中は「電源」表示が緑色と赤色に交互に点灯します。

ソフトウェアの自動ダウンロードについて

- 「自動ダウンロード」の設定を「する」(お買い上げ時の設定)にしておき、日常的にデジタル放送を視聴し、視聴しないときにも電源プラグをコンセントに差し込んだままにしておけば、特別に意識する必要はありません。放送電波やネットワーク経由での更新用のソフトウェアを自動的にダウンロードし、内部ソフトウェアを自動的に更新することができます。更新用のソフトウェアがある場合は、ダウンロード情報が放送電波で送られます。本機は、地上デジタル放送またはBSデジタル放送を視聴しているときにダウンロード情報を取得します(情報を確認する操作はありません)。放送を受信していなくても、ネットワークに接続していれば、自動的にソフトウェアの更新を行います。

自動ダウンロードの設定を変更する

- 1 **設定** を押し、▲・▼と **決定** で「その他の設定」⇒「ソフトウェアのダウンロード」⇒「自動ダウンロード」の順に進む
- 2 ◀・▶で「する」または「しない」を選び、**決定** を押し
 - **青** を押しと、放送電波でのダウンロード予定を一覧で確認することができます。
 - 「しない」を選んだときは、「ソフトウェア更新のお知らせ」の設定が「表示する」に自動的に変更されます。また、手動でソフトウェアの更新をすることもできます。

お知らせ

- 電源プラグがコンセントから抜かれていると、自動ダウンロードができないため、ソフトウェアの自動更新は行われません。
- ダウンロードによって、一部の設定内容がお買い上げ時の状態に戻ったり、予約やお知らせが削除されたりする場合があります。
- 悪天候などでダウンロードが取り消された場合は、「本機に関するお知らせ」でお知らせします。
- テレビの状態によっては、ソフトウェアの更新が行われない場合があります。
- **東芝サーバーからのダウンロードについて**
 - 回線の速度が遅いと正しくダウンロードできないことがあります。このとき、「通信エラー」が表示されます。サーバーが一時的に停止していることもありますので、インターネットへの接続や設定を確認し、しばらくたってからもう一度ダウンロードしてみてください。

インターネットに接続している場合

- 「自動ダウンロード」を「しない」に設定し、「ソフトウェア更新のお知らせ」が「表示する」に設定されている場合、本機の電源を入れたときに更新用のソフトウェアを検出すると、ソフトウェア更新のお知らせ画面が表示されます。
 - ◀・▶で以下のどれかを選び、**決定** を押しします。
 - **今すぐ更新する**……………ソフトウェアの更新を始めます。
 - **電源オフのときに更新する**…本機の電源を待機状態にすると、ソフトウェアの更新を始めます。
 - **手動で更新する**……………ソフトウェアの更新は始めません。「東芝サーバーから手動でダウンロードする」の操作でソフトウェアをダウンロードします。

ソフトウェア更新のお知らせ画面を表示させないようにする

- ソフトウェア更新のお知らせ画面は、以下の操作で表示させないようにすることもできます。
 - 1 **設定** ⇒「その他の設定」⇒「ソフトウェアのダウンロード」⇒「ソフトウェア更新のお知らせ」の順に進む
 - 2 ▲・▼で「表示しない」を選び、**決定** を押し
 - 上記の操作で「表示する」を選ぶと、ソフトウェア更新のお知らせ画面が表示されるようになります。
- 「自動ダウンロード」を「する」に設定している場合、「ソフトウェア更新のお知らせ」は「しない」に設定され、変更することはできません。

東芝サーバーから手動でダウンロードする

- インターネットを利用して東芝サーバーからソフトウェアをダウンロードし、本機内部のソフトウェアを更新することができます。
- インターネットへの接続と設定 **20** がが必要です。

- 1 **設定** を押し、▲・▼と **決定** で「その他の設定」⇒「ソフトウェアのダウンロード」⇒「ソフトウェアの更新確認」の順に進む
 - 新しいソフトウェアがある場合、更新の確認画面が表示されます。

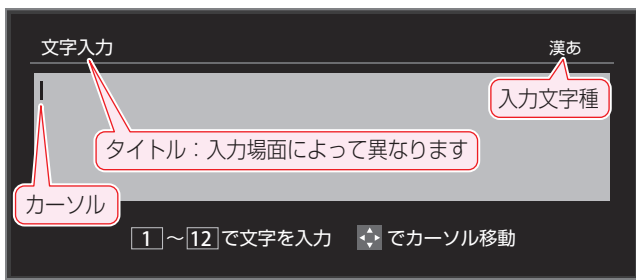
- 2 ◀・▶で「はい」を選び、**決定** を押し
 - ソフトウェア更新が始まります。
 - ソフトウェアの更新中は操作できません。そのまま終了するまでお待ちください。
 - 電源が「待機」になってから再び「入」になり、通常の視聴ができるようになります。

ソフトウェアのバージョンを確認するには

- 1 **サブメニュー** を押し、▲・▼と **決定** で「その他の操作」⇒「本機の情報」の順に進む
 - **設定** ⇒「その他の設定」⇒「本機の情報」でも確認できます。

文字を入力する

- 番組検索のキーワード指定で、新しいキーワードを登録する場面などで文字入力画面が表示されます。



1 1~12で文字を入力する

- 携帯電話と同様の操作で文字を入力します。
入力例：がっこう
→ [2], [10], [4] (6回), [2] (5回), [1] (3回)
が っ こ う
「っ」の別の入力方法 → [4] (3回), [10] (2回)
っ
- 文字に続けて [10] を押せば、濁点(゛)や半濁点(゜)の入力および小文字変換ができます。
- 同じボタンに割り当てられた文字を続けて入力する場合は、次の文字の前に▶を押します。
入力例：あい → [1], ▶, [1] (2回)
あ い
- 入力文字の種類を変えるときは、青 (文字切換) を押します。
- 文字を挿入するには、挿入する場所を▲・▼・◀・▶で選んで入力します。
◀・▶を押すと、カーソルがその行の先頭または末尾に移動します。
- スペースを入力するときは、緑 を押します。

文字を削除するには

- 1文字を削除するには、赤 を短く押します。カーソルの右に文字がない場合は、カーソルの左の1文字が削除されます。カーソルの右に文字がある場合は、カーソルの右の1文字が削除されます。
- 文字をまとめて削除するには、赤 を押し続けます。カーソルの右に文字列がない場合は、文字がすべて削除されます。カーソルの右に文字列がある場合は、カーソルより右の文字がすべて削除されます。

2 以下の操作で文字を確定する

- 漢字に変換しないときは、決定 を押す
- 漢字に変換するときには、▼を繰り返し押し、希望の漢字が見つかったら決定 を押す
 - 希望する漢字に変換されない場合は、変換する範囲を◀▶で変え、▲▼で再度変換します。

お知らせ

- 入力した文字は、次のように表示されます。
入力中の文字：黄色背景 / 未確定の文字：白色背景 / 漢字変換候補選択中の文字：黒色背景 / 確定した文字：背景なし
- 確定せずに変換できるのは4文節までです。4文節以上のときは、確定してから残りを変換してください。
- 漢字候補選択時に戻る を押せば、その文節を未変換状態に戻すことができます。

3 すべての入力が終わったら、決定 を押す

- 文字入力画面が表示される前の操作場面に戻ります。

文字切換(入力文字種の切り換え)

「漢あ」	漢字変換	ひらがなや漢字を入力できます。
「カナ」	全角カナ	カタカナを入力できます。
「a A」	全角英字	全角の英字を入力できます。
「abAB」	半角英字	半角の英字を入力できます。
「1 2」	全角数字	全角の数字を入力できます。
「1234」	半角数字	半角の数字を入力できます。
「全角記号」	全角記号	全角の記号を入力できます。
「半角記号」	半角記号	半角の記号を入力できます。
「定型文」	定型文	定型文を入力できます。

- 文字入力の場面によっては、使用できる入力文字種が少なかったり、切り換えられなかったりすることがあります。
- 入力文字種が「全角記号」、「半角記号」のときには、入力したい記号を文字入力画面から選びます。

入力文字一覧

リモコン	入力文字種			
	漢字変換	全角カナ	英字	数字
1	あ→い→う→え→お →あ→い→う→え→お	ア→イ→ウ→エ→オ →ア→イ→ウ→エ→オ	1→2→3→4→5→ 6→7→8→9→0	1
2	か→き→く→け→こ →か→け	カ→キ→ク→ケ→コ →カ→ケ	a→b→c →A→B→C	2
3	さ→し→す→せ→そ	サ→シ→ス→セ→ソ	d→e→f →D→E→F	3
4	た→ち→つ→て→と →っ	タ→チ→ツ→テ→ト →ッ	g→h→i →G→H→I	4
5	な→に→ぬ→ね→の	ナ→ニ→ヌ→ネ→ノ	j→k→l →J→K→L	5
6	は→ひ→ふ→へ→ほ	ハ→ヒ→フ→ヘ→ホ	m→n→o →M→N→O	6
7	ま→み→む→め→も	マ→ミ→ム→メ→モ	p→q→r→s →P→Q→R→S	7
8	や→ゆ→よ →や→ゆ→よ	ヤ→ユ→ヨ →ヤ→ユ→ヨ	t→u→v →T→U→V	8
9	ら→り→る→れ→ろ	ラ→リ→ル→レ→ロ	w→x→y→z →W→X→Y→Z	9
10	°→°→小文字変換	°→°→小文字変換	小文字変換	0
11	わ→を→ん→わ→、→。 →ー	ワ→ラ→ン→ワ→、→。 →ー	* 1	*
12	* 2 逆方向へ入力	* 2 逆方向へ入力	* 2 逆方向へ入力	#

- 最後の候補まで行くと、次は最初の候補に戻ります。
- * 1 全角英字の場合…… → / → : → → → → → → → @
半角英字の場合…… → / → : → → → → → → → @
- * 2 文字入力変換中に文字を通り過ぎたときに、逆方向へ戻ります。

使用上のお願いとご注意

取り扱いについて

- 本機をご使用中、製品本体で熱くなる部分がありますので、ご注意ください。
- 引越など、遠くへ運ぶときは、傷がつかないように毛布などでくるんでください。また、衝撃・振動を与えないでください。
- 本機に殺虫剤など、揮発性のものをかけないでください。また、ゴムやビニール製品などを長時間接触させないでください。変質したり、塗装がはげたりすることがあります。
- 電源プラグは非常時と長期間ご使用にならないとき以外は、常時コンセントに接続してください(番組情報を取得するためです)。
- 畳の上に置かないでください。金属部が直接畳に触れていると、さびが出たり、畳表に穴があいたりする可能性があります。
- 本機の近くにキャッシュカードなどの磁気カードやビデオテープなどを置かないでください。本機から出る磁気の影響でデータや録画内容などが損なわれる可能性があります。
- 本機から「ジー」という液晶パネルの駆動音が聞こえる場合がありますが、故障ではありません。
- 外部入力(ビデオ入力、HDMI入力1～2)の映像や音声には若干の遅れが生じます。以下の場合にはこの遅れによる違和感があることがあります。
 - ・ ゲーム、カラオケなどを接続して楽しむ場合
 - ・ 外部機器の音声を直接オーディオ機器に接続して視聴する場合
- 電源起動時にパネルの調整を行うため、映像が表示されるまでに時間がかかります。

電源プラグをコンセントから抜く際のご注意

- 電源プラグをコンセントから抜いたり、コンセントの元につながっているブレーカーを落としたりする際は、以下の手順で行ってください。
- 1 **画面表示**を押して、録画中の表示が出ないことを確認する
 - 2 **録画予約が設定されていないか確認する**
 - 「予約の確認・変更・取り消しをする」の手順で、電源プラグを抜いている間に始まる予約がないか確認してください。電源プラグが抜かれていると、予約した番組は録画されません。
 - 3 **本体の電源ボタンを押して電源を切る**
 - 4 **電源プラグをコンセントから抜く**

遠隔操作について

- リモコン、またはレグザAppsコネクトなどを利用してスマートフォンやタブレットPCからテレビを操作するときは、本機が見える位置から操作してください。

録画・録音について

- 本機に接続した機器に録画・録音する際は、事前に試し録画・録音をして、正しくできていることを確かめておいてください。
 - 本機に接続した機器を録画・録音した内容の長期保存として使用しないでください。あくまでも一時的な保存・再生機能としてご使用ください。
 - 著作権保護のため、コピーが禁止されている番組は録画することはできません。また、著作権保護のため、1回だけ録画が許された番組は、録画した番組をさらにコピーすることはできません。
 - あなたが録画・録音したものは、個人的にまたは家庭内その他これに準ずる限られた範囲内で楽しむ以外は、著作権法上、権利者に無断では使用できません。録画・録音したものを個人的にまたは家庭内その他これに準ずる限られた範囲内で楽しむ以外に権利者の許諾なく、複製・改変したり、インターネットなどで送信・掲示したりすることは著作権法上禁止されています。以下の行為なども、原則として著作権法上保護された権利を侵害することになりますのでご注意ください。
 - ・ 録画した番組を自分のホームページで見られるようにする。
 - ・ 録画した番組をメールやメッセージサービスなどで他人に送る。
 - ・ 番組を録画したビデオテープやディスクなどの媒体を営利の目的で、または不特定もしくは多数の人に貸す。
- 著作権法に違反すると刑事処罰を受ける場合もありますので自己責任のもとでご利用ください。

本機の無線LANを使う際のお願い

- 本機は、日本国の電波法に基づく無線設備(無線LAN)を内蔵しています。
- 本機に搭載されている無線設備は、日本国内専用です。海外で使用することはできません。
- 本機の無線LANが使用する周波数帯は、2.4GHz帯と5GHz帯ですが、他の無線機器も同じ周波数を使用している場合があります。本機の内蔵無線LANを使用する際は、他の無線機器との間で電波干渉が発生しないように、以下の注意事項に留意してください。

この機器の使用周波数帯では、電子レンジ等の産業・科学・医療機器のほか、他の同種無線局、工場の製造ライン等で使用されている免許を要する移動体識別用の構内無線局、免許を要しない特定小電力無線局、アマチュア無線局等(以下「他の無線局」と略す)が運用されています。

1. この機器を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。
2. 万一、この機器と「他の無線局」との間に電波干渉が発生した場合には、速やかにこの機器の使用チャンネルを変更するか、使用場所を変えるか、又は機器の運用を停止(電波の発射を停止)してください。
3. その他、電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、東芝テレビご相談センターへお問い合わせください。

連絡先：東芝テレビご相談センター

【一般回線・PHSからのご利用は】
フリーダイヤル(通話料：無料)

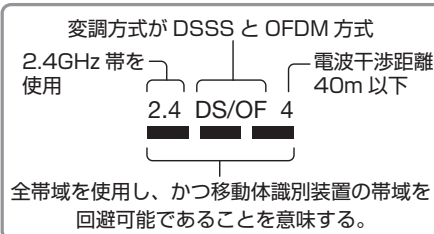
0120-97-9674

【携帯電話からのご利用は】
ナビダイヤル(通話料：有料)

0570-05-5100

※ IP電話などでフリーダイヤルサービスをご利用になれない場合は、
03-6830-1048 (通話料：有料)

- 5GHz帯のW52、W53の電波を使用して、屋外で通信しないでください。5GHz帯のW52、W53の無線設備を屋外で使用することは、法令で禁止されています。屋外で本機の無線LANを使用する場合は、5GHz帯のW56を使用するか、または2.4GHz帯をご使用ください。
- 本機の定格銘板に記載されている周波数表示は、以下の内容を示しています。
- **無線LAN：**



- 本機の無線LANは、以下の規格に対応しています。無線LANアクセスポイントも、この規格に対応した製品をお使いください。

IEEE802.11b/g/n			
IEEE802.11a/n/ac			
J52	W52	W53	W56

規格		チャンネル	周波数帯 (中心 周波数帯)
IEEE 802.11 b/g/n		1 ~ 13	2.412 ~ 2.472GHz
IEEE 802.11 a/n/ac	W52	36,40,44,48	5.18 ~ 5.24GHz
	W53	52,56,60,64	5.26 ~ 5.32GHz
	W56	100,104,108, 112,116,120, 124,128,132, 136,140	5.50 ~ 5.70GHz

※ 本機は従来の無線規格であるJ52には対応していません。

- 無線LANの性能や環境条件による影響など：無線LANのデータ転送速度は、通信距離・障害物などの環境条件、電子レンジ等の電波環境要素、ネットワークの使用状況などに影響されます。
 - 本機はIEEE802.11a/b/g/n/acの規格に準拠していますが、すべての無線LAN機器との接続や通信を保証するものではありません。
 - 5GHz帯に対応している無線LANアクセスポイントをお使いの場合は、5GHz帯でのご使用をおすすめします。
- 本機の近くに無線LANアクセスポイントが設置されていると、アクセスポイント選択の一覧に表示されない、電波強度が弱く表示される、あるいは接続に失敗する場合があります。このような現象が発生した場合、本機と無線LANアクセスポイントを離してお試しください。また、無線LANアクセスポイントの送信強度を下げることで改善できる場合もあります。

無線LAN製品ご使用におけるセキュリティに関するご注意

- 無線LANでは、LANケーブルを使用する代わりに、電波を利用してパソコン等と無線LANアクセスポイント間で情報のやり取りをするため、電波の届く範囲であれば自由にLAN接続ができるという利点があります。その反面、電波はある範囲内であれば障害物(壁等)を越えてすべての場所に届くため、セキュリティに関する設定をしていない場合、以下のような問題が発生することがあります。
 - **通信内容を盗み見られる**
悪意ある第三者が、電波を故意に傍受し、
IDやパスワードまたはクレジットカード番号等の個人情報メールの内容などの通信内容を盗み見られるおそれがあります。
 - **不正に侵入される**
悪意ある第三者が、無断で個人や会社内のネットワークにアクセスし、
個人情報や機密情報を取り出す(情報漏洩)
特定の人物になりすまして通信し、不正な情報を流す(なりすまし)
傍受した通信内容を書き換えて発信する(改ざん)
コンピューターウイルスなどを流しデータやシステムを破壊する(破壊)などの行為をされてしまうおそれがあります。
- 本来、無線LAN製品は、セキュリティに関する仕組みを持っていますので、その設定を行って製品を使用することで、上記問題が発生する可能性は少なくなります。セキュリティの設定をしないで使用した場合の問題を十分に理解した上で、お客様自身の判断と責任でセキュリティに関する設定を行い、製品を使用することをおすすめします。

本機を廃棄、または他の人に譲渡するとき

- 「すべての初期化」機能操作編²⁸⁹で、暗証番号や双方向サービスの情報(住所・氏名、ポイント数などの利用者個人の情報)、ネットワークサービスの登録情報なども含めて、初期化してください。
- **廃棄時にご注意ください**
家電リサイクル法では、ご使用済の液晶テレビを廃棄する場合は、収集・運搬料金、再商品化等料金(リサイクル料金)をお支払いの上、対象品を販売店や市町村に適正に引き渡すことが求められています。

免責事項について

- 地震・雷などの自然災害、火災、第三者による行為、その他の事故、使用者の故意または過失、誤用、その他異常な条件下での使用によって生じた損害に関して、故意過失ある場合を除き当社は一切の責任を負いません。
- 本製品の使用または使用不能から生じる付随的な損害(事業利益の損害、事業の中断、視聴料金の損失など)に関して、当社は一切の責任を負いません。
- 取扱説明書の記載内容を守らないことによって生じた損害に関して、当社は一切の責任を負いません。
- 本機に接続した機器に正しく記録(録画、録音など)できなかった内容または変化・消失した内容の補償、および付随的な損害に関して、当社は一切の責任を負いません。大切な番組の録画・録音には、本機との組み合わせによらない録画・録音機器を併用することをおすすめします。
- 他の接続機器との組み合わせによる誤動作や動作不能、誤操作などから生じた損害(録画機器などの故障、録画内容の変化・消失など)に関して、当社は一切の責任を負いません。
- 誤操作や、静電気などのノイズによって本機に記憶されたデータなどが変化・消失することがあります。
- 故障・修理のときなどに、データ放送の双方向サービスなどで本機に記憶された利用者の登録情報やポイント情報などの一部あるいはすべてが変化・消失した場合の損害や不利益について、当社は責任を負いませんのであらかじめご了承ください。

お手入れについて



注意

■ お手入れのときは、電源プラグをコンセントから抜く
感電の原因となることがあります。



お手入れの際のご注意

ベンジン・アルコールなどは使わない

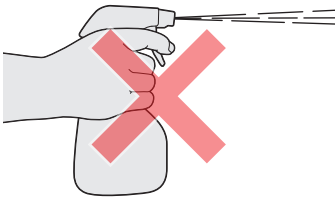
- ベンジン・アルコールなどの揮発性のもののほか、アセトンなどケトン類やキシレン、トルエンなどの溶剤は使わないでください。キャビネットや画面(液晶パネル)が溶けたり、破損したりするおそれがあります。
- クレンザーなど、研磨剤が含まれた洗剤は使わないでください。表面が傷つきます。

化学ぞうきんやウェットタイプのクリーニングクロス/クリーニングペーパーなどは使わない

- 含まれている成分によっては、キャビネットや画面の表面が溶けたり、破損したりするおそれがあります。

水やスプレータイプの洗剤などを直接かけない

- 洗剤などの液体がテレビの内部に垂れたり、しみこんだりすると、故障の原因になります。



ぬれた手でお手入れをしない

- ぬらした布などを絞ってお手入れをするときは、手についた水滴をよくふき取ってください。水滴がテレビの内部に垂れたり、しみこんだりすると、故障の原因になります。



画面のお手入れは特にやさしく

- 画面の表面は樹脂でできています。固い布や紙でふいたり、強くこすったりすると表面が傷つき、映像の品位が低下します。やさしくふくようにしてください。
- 画面の内面はガラスでできています。たたいたり、押ししたりして力を加えると、画面が割れてテレビが見られなくなってしまいます。やさしく取り扱ってください。
- ※ ふだん、小さなお子様などが画面に触れたり、たたいたりしないようにご注意ください。

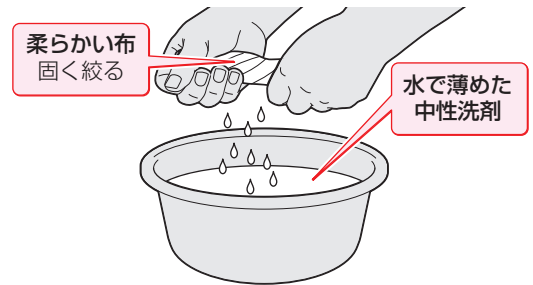
キャビネットと画面のお手入れ

1 キャビネットや画面に付着しているゴミ、ホコリを払う

- 柄つきの柔らかいモップなどで、やさしく払ってください。
- ※ ゴミやホコリがついたままでふいたり、こすったりすると、表面が傷ついてしまいます。

2 乾いた脱脂綿または柔らかい布(綿、ガーゼなど)でやさしくふき取る 汚れが落ちにくいときは

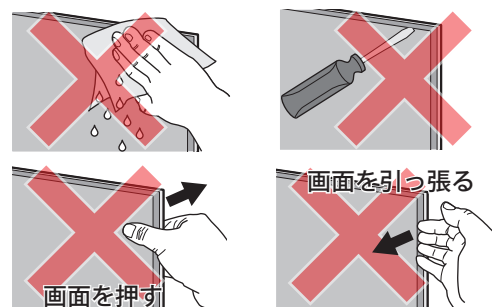
- 水で1000倍程度に薄めた中性洗剤(中性洗剤1ミリリットルあたり1リットルの水で薄める)に脱脂綿または柔らかい布を浸してから固く絞り、汚れをやさしくふき取ってください。そのあと、乾いた脱脂綿または柔らかい布で水分をふき取ってください。



- ※ 手に水滴がついているときは、テレビに触れる前にふき取ってください。
- ※ 洗剤が濃いと画面などに残ってしまいます。その場合は、水だけで固く絞った脱脂綿または柔らかい布でやさしくふき取ってください。
- ※ 画面をぬらしたまま放置しないでください。吸湿劣化やシミの原因になることがあります。水分が残っているときは、乾いた脱脂綿または柔らかい布でやさしくふき取ってください。

3 お手入れのときや、お手入れなどで画面の向きを変える際に、画面とキャビネットの隙間に液体や異物を入れないように注意してください。

また、画面のみを押ししたり、引っ張ったりしないように注意してください。



困ったときには

こんな場合は故障ではありません

悪天候でのBS・110度CSデジタル放送の受信障害

- 降雨や降雪などで電波が弱くなったときには、映像にノイズが多くなったり、映らなくなったりすることがあります。
- 天候が回復すれば正常に映るようになります。

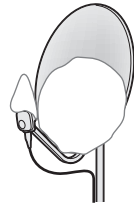
大雨が降っている



大雪が降っている



アンテナに雪が積もっている



放送が受信できません。

1. テレビと壁のアンテナ線の接続を確認してください



アンテナ線を接続しなおしてみてください。
地デジとBS・110度CSのアンテナを間違えないようにご注意ください。

2. リモコンで見たい放送（**地デジ** **BS** **CS**）ボタンを押してください
3. 設定の「アンテナ設定」でアンテナレベルを確認してください
詳細は取扱説明書のエラーメッセージの項目をご確認ください。
お問い合わせ先を確認する場合は、**赤** ボタンを押してください。
コード：E202

本機内部からの動作音

- 電源待機時に番組情報取得などの動作を開始する際、「カチッ」という音が聞こえることがあります。
- 「ジー」という液晶パネルの駆動音が聞こえることがあります。

キャビネットからの「ピシッ」というきしみ音

- 「ピシッ」というきしみ音は、部屋の温度変化でキャビネットが伸縮するときに発生する音です。画面や音声などに異常がなければ心配ありません。

使用していないのに温まる

- 使用していない場合でも、番組情報取得などの動作をしているときなどは、本機の温度が多少上昇します。

症状に合わせて解決法を調べる

- テレビが正しく動作しないなどの症状があるときは、以降の記載内容および機能操作編の「症状に合わせて解決法を調べる」から解決法をお調べください。
- 解決法の対処をしても症状が改善されない場合は、電源プラグをコンセントから抜き、「東芝テレビご相談センター」にご相談ください。

テレビが操作できなくなったとき—テレビをリセットする

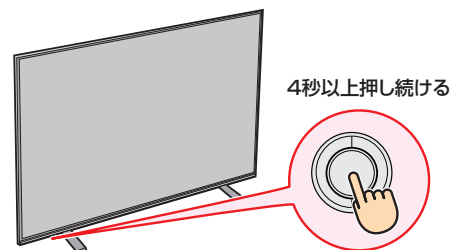
- リモコンでもテレビの本体ボタンでも操作できなくなった場合は、以下の操作を試してみてください。

電源プラグを抜いてリセットする

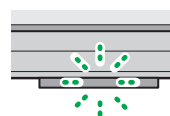
- ① 電源プラグをコンセントから抜く
- ② 1分間以上待つ
- ③ 電源プラグをコンセントに差し込んで、電源を入れる

本体ボタンを長押ししてリセットする

- ① 本体ボタンの中央部を押し続ける



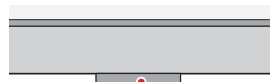
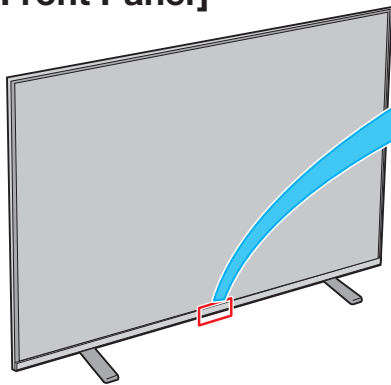
- ② 本体前面の「電源」の表示ランプが点滅したら、本体ボタンから手を離す



- しばらくすると電源が「入」になり、画面に「リセット機能により、再起動しました。」が表示されます。

Basic Operations

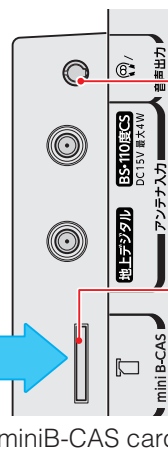
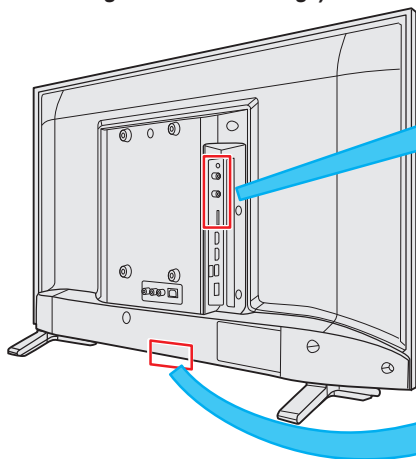
[TV Front Panel]



- Power on (Green)/ Standby (Red)
- Remote Control sensor
- For optimum performance, aim the remote control DIRECTLY at the TV remote sensor. (within 16 ft from the TV set)

[TV Rear Panel]

- To view digital broadcasting programs, insert the miniB-CAS card into the card slot. (Without miniB-CAS card, you CANNOT receive digital broadcasting.)



Headphone jack / Analog audio out

miniB-CAS card slot

miniB-CAS card

- Press to turn the TV set on and off. Toggle the button right and left to adjust the volume. Toggle the button down to switch the button right/left function.

[Remote controller]

Input selection button

Power button (ON/STANDBY)

- For selecting Digital terrestrial broadcasting programs.
- For selecting program channels.
- For selecting Digital satellite broadcasting programs.

Channels sequential access button (Up / Down)

Sound volume adjustment button

EPG button

- For accessing to the Electronic Program Guide (EPG). EPG provides you a chart of the schedule of all available digital channels.
- For exiting menus or EPG mode.
- For returning to the previous screen when in menu or EPG mode.

Multi-sound mode selection button

- Japanese
- Second-language
- Japanese + Second-language

本機で使われるソフトウェアのライセンス情報

本機に組み込まれたソフトウェアは、複数の独立したソフトウェアコンポーネントで構成され、個々のソフトウェアコンポーネントは、それぞれに当社または第三者の著作権が存在します。

本機は、第三者が規定したエンドユーザーライセンスアグリーメントあるいは著作権通知(以下、「EULA」といいます)に基づきフリーソフトウェアとして配布されるソフトウェアコンポーネントを使用しております。

「EULA」の中には、実行形式のソフトウェアコンポーネントを配布する条件として、当該コンポーネントのソースコードの入手を可能にするよう求めているものがあります。当該「EULA」の対象となるソフトウェアコンポーネントに関しては、以下のホームページの「Linuxに関するお問い合わせ」よりお問い合わせいただくようお願いいたします。

ホームページアドレス

<https://www.toshiba.co.jp/regza/support/>


また、本機のソフトウェアコンポーネントには、当社自身が開発もしくは作成したソフトウェアも含まれており、これらソフトウェア及びそれに付帯したドキュメント類には、当社の所有権が存在し、著作権法、国際条約条項及び他の準拠法によって保護されています。「EULA」の適用を受けない当社自身が開発もしくは作成したソフトウェアコンポーネントは、ソースコード提供の対象とはなりませんのでご了承ください。

ご購入いただいた本機は、製品として、弊社所定の保証をいたします。

ただし、「EULA」に基づいて配布されるソフトウェアコンポーネントには、著作権者または弊社を含む第三者の保証がないことを前提に、お客様がご自身でご利用になることが認められるものがあります。この場合、当該ソフトウェアコンポーネントは無償でお客様に使用許諾されますので、適用法令の範囲内で、当該ソフトウェアコンポーネントの保証は一切ありません。著作権やその他の第三者の権利等については、一切の保証がなく、「as is」(現状)の状態、かつ、明示か黙示であるかを問わず一切の保証をつけず、当該ソフトウェアコンポーネントが提供されます。ここでいう保証とは、市場性や特定目的適合性についての黙示の保証も含まれますが、それに限定されるものでは


ではありません。当該ソフトウェアコンポーネントの品質や性能に関するすべてのリスクはお客様が負うものとします。また、当該ソフトウェアコンポーネントに欠陥があるとわかった場合、それに伴う一切の派生費用や修理・訂正に要する費用は、当社は一切の責任を負いません。適用法令の定め、又は書面による合意がある場合を除き、著作権者や上記許諾を受けて当該ソフトウェアコンポーネントの変更・再配布を為し得る者は、当該ソフトウェアコンポーネントを使用したこと、又は使用できないことに起因する一切の損害についてなんらの責任も負いません。著作権者や第三者が、そのような損害の発生する可能性について知られていた場合でも同様です。なお、ここでいう損害には、通常損害、特別損害、偶発損害、間接損害が含まれます(データの消失、又はその正確性の喪失、お客様や第三者が被った損失、他のソフトウェアとのインターフェースの不適合化等も含まれますが、これに限定されるものではありません)。当該ソフトウェアコンポーネントの使用条件や遵守いただかなければならない事項等の詳細は、各「EULA」をお読みください。

ライセンスおよび商標などについて

 この製品はドルビーラボトリーズからの実施権に基づき製造されています。Dolby, ドルビー, Dolby Audio 及びダブルD記号はドルビーラボトリーズの商標です。

 本製品は、株式会社ACCESSのNetFront Browserを搭載しています。ACCESS、NetFrontは、日本国およびその他の国における株式会社ACCESSの商標または登録商標です。© 2009 ACCESS CO., LTD. All rights reserved.

 HDMI, High-Definition Multimedia Interface, およびHDMIロゴは、米国およびその他の国におけるHDMI Licensing Administrator, Inc. の商標または、登録商標です。

 スカパー! および「スカパー! プレミアムサービスLink」ロゴは、スカパー JSAT株式会社の登録商標です。

 この製品はEilex International, LLCからの実施権に基づき製造されています。Eilex PRISM, VIR Filter, Eilex Focus はEilex International, LLC の商標です。

● 「Netflix」はNetflix, Inc.の商標です。

● Blu-ray Disc™(ブルーレイディスク)、Blu-ray™(ブルーレイ)はブルーレイディスク アソシエーションの商標です。

● YouTube および YouTube ロゴは、Google LLC の商標または登録商標です。

● Amazon、Prime Video およびそれらのロゴはAmazon.com, Inc.またはその関連会社の商標です。

● その他、取扱説明書に記載されている社名・商品・サービス名などは、それぞれ各社が商標として使用している場合があります。

● 本製品の一部分に Independent JPEG Groupが開発したモジュールが含まれています。

● この製品に含まれているソフトウェアをリバース・エンジニアリング、逆アセンブル、逆コンパイル、分解またはその他の方法で解析、及び変更することは禁止されています。

● **AVC PATENT PORTFOLIO LICENSE**
THIS PRODUCT IS LICENSED UNDER THE AVC PATENT PORTFOLIO LICENSE FOR THE PERSONAL AND NON COMMERCIAL USE OF A CONSUMER TO (i) ENCODE VIDEO IN COMPLIANCE WITH THE AVC STANDARD ("AVC VIDEO") AND/OR (ii) DECODE AVC VIDEO THAT WAS ENCODED BY A CONSUMER ENGAGED IN A PERSONAL AND NON-COMMERCIAL ACTIVITY AND/OR WAS OBTAINED FROM A VIDEO PROVIDER

LICENSED TO PROVIDE AVC VIDEO. NO LICENSE IS GRANTED OR SHALL BE IMPLIED FOR ANY OTHER USE. ADDITIONAL INFORMATION MAY BE OBTAINED FROM MPEG LA, L.L.C. SEE [HTTP://WWW.MPEGLA.COM](http://www.mpegla.com)

● This product contains technology subject to certain intellectual property right of Microsoft. Use or distribution of this technology outside of this product is prohibited without the appropriate license(s) from Microsoft.

PlayReady end user notice

Content owners use Microsoft PlayReady™ content access technology to protect their intellectual property, including copyrighted content. This device uses PlayReady technology to access PlayReady-protected content and/or WMDRM-protected content. If the device fails to properly enforce restrictions on content usage, content owners may require Microsoft to revoke the device's ability to consume PlayReady-protected content. Revocation should not affect unprotected content or content protected by other content access technologies. Content owners may require you to upgrade PlayReady to access their content. If you decline an upgrade, you will not be able to access content that requires the upgrade.

● This product includes software developed by the OpenSSL Project for use in the OpenSSL Toolkit (<http://www.openssl.org/>)

● This product has used the FreeType code.

仕様

種類	液晶テレビ		
形名	24V34	32V34	40V34
受信機型サイズ	24V	32V	40V
電源	AC 100V 50/60Hz共用		
消費電力	46W 電源「待機」時 0.4W、 電源「切」時 0.4W、 (機能動作時 10W) ^{*1}	51W 電源「待機」時 0.4W、 電源「切」時 0.4W、 (機能動作時 10W) ^{*1}	70W 電源「待機」時 0.4W、 電源「切」時 0.4W、 (機能動作時 10W) ^{*1}
年間消費電力量	48kWh/年	58kWh/年	79kWh/年
区分名	a (2K未満液晶テレビ)		b (2K以上4K未満液晶テレビ)
スタンドを含む外形寸法 ()は本体のみ	幅	55.3(55.3)cm	73.0(73.0)cm
	高さ	35.7(33.5)cm	46.3(43.3)cm
	奥行	14.3(7.0)cm	17.8(7.5)cm
スタンドを含む質量 ()は本体のみ	3.0(2.9)kg	4.5(4.4)kg	6.5(6.4)kg
壁取付金具の取付寸法	幅20cm x 高さ20cm、 M6ネジ	幅10cm x 高さ20cm、 M6ネジ	幅10cm x 高さ20cm、 M6ネジ
液晶画面	画面寸法	幅52.1cm、高さ29.3cm、 対角59.8cm	幅69.8cm、高さ39.2cm、 対角80.0cm
	駆動方式	TFTアクティブマトリクス	
	画素数	水平1366×垂直768	水平1920×垂直1080
受信チャンネル	地上デジタル：地デジ011～地デジ528(CATVパススルー対応) BSデジタル：BS100～BS999、110度CSデジタル：CS001～CS999		
スピーカー	フルレンジ 2個		
音声出力	実用最大出力4W+4W (総合音声出力8W) (JEITA)	実用最大出力6W+6W (総合音声出力12W) (JEITA)	実用最大出力7W+7W (総合音声出力14W) (JEITA)
入力・出力端子	HDMI入力	HDMI入力 2系統(ARC：HDMI入力1のみ対応)	
	ビデオ入力	口径3.5mmミニジャック ^{*2}	RCAピンジャック x 3
	USB(録画専用)端子	USB2.0	
	USB端子	USB2.0	
	光デジタル音声出力	光デジタル音声出力 1系統	
	ヘッドホン/音声出力端子	口径3.5mmステレオミニジャック	
LAN端子	RJ-45		
使用環境条件	温度：0℃～35℃、相対湿度：20%～80% (結露のないこと)		
付属品	「付属品を確認する」 2 をご覧ください。		

※1：電源「待機」時または電源「切」時に以下の動作をしているときの消費電力です。

- 番組情報などを取得しているとき

※2：付属のビデオ入力変換アダプターを使い、ミニジャックからRCA入力端子に変換します。

無線LANの仕様

規格	IEEE802.11n / IEEE802.11a / IEEE802.11g / IEEE802.11b / IEEE802.11ac準拠 ARIB STD-T71 / ARIB STD-T66 ※ 従来の無線規格であるJ52には対応していません。
伝送方式	OFDM方式 / DSSS方式
周波数範囲(中心周波数) およびチャンネル	IEEE802.11n / IEEE802.11a / IEEE802.11ac : 5.18GHz～5.24GHz (36、40、44、48) [W52] 5.26GHz～5.32GHz (52、56、60、64) [W53] 5.50GHz～5.70GHz (100、104、108、112、116、120、124、128、132、136、140) [W56] IEEE802.11n / IEEE802.11g / IEEE802.11b : 2.412GHz～2.472GHz (1～13)
動作モード	インフラストラクチャーモード(アドホックモードは対応していません。)

- 意匠・仕様・ソフトウェアは製品改良のため予告なく変更することがあります。
- 受信機型サイズ(32Vなど)は、有効画面の対角寸法を基準とした大きさの目安です。
- このテレビを使用できるのは日本国内だけで、外国では放送方式、電源電圧が異なるため使用できません。
(This television set is designed for use in Japan only and can not be used in any other country.)
- 本商品は、ご愛用終了時に再資源化の一助としておもなプラスチック部品に材質名表示をしています。
- 本商品の改造は感電、火災などのおそれがありますので行わないでください。
- イラスト、画面表示などは、見やすくするために誇張や省略などで実際とは多少異なります。

仕様 つづき

- 省エネルギーのため長時間テレビを見ないときは電源プラグを抜いてください。
- 年間消費電力の区分名とは：省エネ法において、画素数およびパネルの種類に基づき規定されている名称のことです。
- 年間消費電力量とは：省エネ法に基づいて、1日あたり5.1時間の平均視聴時間／18.9時間の待機時間(電子番組表取得時間を含む)で算出した、一年間に消費する電力量です。
- 「JIS C 61000-3-2 適合品」 - JIS C 61000-3-2 適合品とは、日本工業規格「電磁両立性—第3-2部：限度値—高調波電流発生限度値(1相当たりの入力電流が20A以下の機器)」に基づき、商用電力系統の高調波環境目標レベルに適合して設計・製造した製品です。
- 液晶画面は非常に精密度の高い技術で作られており、微細な画素の集合で表示しています。99.99%以上の有効画素があり、ごく一部(0.01%以下)に光らない画素や、常時点灯する画素などがありますが、故障ではありませんので、ご了承ください。
- ※ 国外で本品を使用して有料放送サービスを楽しむことは有料放送契約上禁止されています。
(It is strictly prohibited, as outlined in the subscription contract, for any party to receive the services of scrambled broadcasting through use of this television set in any country other than Japan and its geographic territory as defined by international Law.)



グリーンマークは、「JIS C0950電気・電子機器の特定の化学物質の含有表示方法」(通常J-Moss)での、特定の化学物質の含有率が基準値以下であることを表すマークです。

USBハードディスクに録画できる時間の目安

- USBハードディスクで録画できる時間の目安は以下ようになります。
- ※ 「自動削除設定」が「削除する」に設定されている場合、約2時間分の録画領域を確保するために、録画できる時間が下表よりも少なくなることがあります。

例 1TBのハードディスクの場合

放送番組の種類	録画できる時間の目安
地上デジタルハイビジョン放送番組 (HD 最大17Mbps)だけを録画する場合	約125時間
BS/110度CSデジタルハイビジョン放送番組 (HD 最大24Mbps)だけを録画する場合	約88時間

- 放送番組の種類は、**番組説明**を押して、番組説明画面に表示されるアイコンで確認することができます。
- ハードディスクの残量(録画設定画面に表示される「録画可能時間」および、録画リストのサブメニューの機器の情報画面(機能操作編**112**)に表示される「録画可能時間」)は、BSデジタルハイビジョン放送の最大(24Mbps)を基準に算出しています。そのため、地上デジタルハイビジョン放送(約17Mbps)の録画番組などを削除した場合、残量の増加分は削除した番組の時間よりも少なくなります。

対応機器について

- 接続できる機器については、ホームページで順次公開する予定です(<https://www.toshiba.co.jp/regza/>)。

memo

A grid of horizontal dashed lines for writing, consisting of 20 rows and 20 columns of lines.

保証とアフターサービス

必ずお読みください

① 基本的な取扱方法、故障と思われる場合のご確認

ホームページの<お客様サポート>に、ご確認いただきたい情報を掲載しておりますので、ご覧ください。

<https://www.toshiba.co.jp/regza/support/>

※上記のアドレスは予告なく変更される場合があります。



② 商品選びのご相談、お買い上げ後の基本的な取扱方法、故障と思われる場合のご相談

「東芝テレビご相談センター」

メモ 形名 製造番号

形名と製造番号は、保証書および本体背面に表示されています。

【一般回線・PHSからのご利用は】
フリーダイヤル(通話料:無料)

0120-97-9674

●IP電話などでフリーダイヤルサービスをご利用になれない場合は、

03-6830-1048 (通話料:有料)

【携帯電話からのご利用は】
ナビダイヤル(通話料:有料)

0570-05-5100

【FAXからのご利用は】(通信料:有料)

03-3258-0470

- お客様からご提供いただいた個人情報は、修理やご相談への回答、カタログ発送などの情報提供に利用いたします。
- 利用目的の範囲内で、当該製品に関連する当社グループ会社、東芝家電製品関連各社や協力会社にお客様の個人情報を提供する場合があります。

修理・お取り扱いについてご不明な点は

お買い上げの販売店または、「東芝テレビご相談センター」(上記)にご相談ください。

保証期間(ご購入後一年間)を過ぎた故障で、販売店の延長保証に加入されている場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。

保証書(別添)

- 保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店名」等の記入をお確かめのうえ、販売店から受け取っていただき内容をよくお読みのと、大切に保管してください。

保証期間……お買い上げの日から1年間です。

- 保証期間中の故障は、保証書の内容に基づき無料修理となります。無償商品交換ではありません。
- 訪問修理を依頼され、テレビに原因がないと判明した場合は、保証期間中であっても出張料などを申し受けますので、あらかじめご承知おきください。

修理を依頼される時は～出張修理

- 「困ったときは」に従って調べていただき、なお異常があるときは本体の電源を切り、必ず電源プラグを抜いてから、お買い上げ日と下記の内容をご連絡ください。

■保証期間中は

修理に関しては保証書をご覧ください。保証書の規定に従って修理させていただきます。

■保証期間が過ぎているとき

修理すれば使用できる場合には、ご希望によって有料で修理させていただきます。

■修理料金の仕組み

修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。	
技術料	故障した製品を正常に修復するための料金です。
部品代	修理に使用した部品代金です。
出張料	製品のある場所へ技術者を派遣する場合の料金です。

補修用性能部品の保有期間

- 液晶テレビの補修用性能部品の保有期間は製造打ち切り後8年です。ただし、場合により、補修に代えて補修額に相当する金額にて他のテレビに交換をお願いする場合がありますので、ご了承願います。
- 補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

部品について

- 修理のために取りはずした部品は、特段のお申し出がない場合は当社で引き取らせていただきます。
- 修理の際、当社の品質基準に適合した再利用部品を使用することがあります。

■ご連絡いただきたい内容

品名	液晶テレビ
形名	24V34, 32V34, 40V34
お買い上げ日	年 月 日
故障の状況	できるだけ具体的に
ご住所	付近の目印等もあわせてお知らせください。
お名前	
電話番号	
訪問ご希望日	
お買い上げ店名	おぼえのため、ご購入年月日、ご購入店名を記入しておくとう便利です。 TEL() -

廃棄時にご注意願います

- 家電リサイクル法では、ご使用済の液晶テレビを廃棄する場合は、収集・運搬料金、再商品化等料金(リサイクル料金)をお支払いの上、対象品を販売店や市町村に適正に引き渡すことが求められています。



長年ご使用のテレビの点検をぜひ!

熱、湿気、ホコリなどの影響や、使用の度合いによって部品が劣化し、故障したり、ときには安全性を損なって事故につながったりすることもあります。

ご使用の際
このような症状は
ありませんか?

- 電源を入れても映像や音が出ない。
- 映像が時々、消えることがある。
- 変なにおいがしたり、煙が出たりする。
- 電源を切っても、映像や音が消えない。
- 内部に水や異物がはいった。

使用中

このような場合、故障や事故防止のため、すぐに電源プラグをコンセントから抜いて、必ずお買い上げの販売店に点検・修理をご相談ください。
ご自分での修理は危険ですので、絶対にしないでください。

東芝映像ソリューション株式会社

〒212-0058 神奈川県川崎市幸区鹿島田1-1-2

※所在地は変更になることがありますのでご了承ください。

- 製品に付属されている取扱説明書はモノクロ印刷です。

(TV0) RSAG2.025.6965SS(V2.0) B

©TOSHIBA VISUAL SOLUTIONS CORPORATION 2020